MA1410-A
© 2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.

OCEANUS

取扱説明書

5394(OC)✳JA

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
また、本機をご使用になる前には、安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

重要

- ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

参照　充電量の確認…P.22

◆計測機能について

- 専門的な計測器ではありません。
  計測機能は、目安としてお使いください。
- 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス（方位磁針）を携帯してください。
  予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、2 点補正をしてください。
  - 永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）の近くのような強い磁力がある場所では、正しく計測や補正ができません。

参照　方位を補正する…P.68

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

→P.26

◆正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→P.32

◆北方位がわかります

針が示す北方位から、目標物の方位を調べることもできます。

→P.64

◆ワールドタイムがわかります

世界29都市の時刻を表示できます。
サマータイムは自動で切り替わるので、設定不要です。

→P.78

◆ストップウオッチとして使えます

経過時間を計測できます。

→P.82

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になるとタイムアップ音でお知らせします。

→P.86

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音でお知らせします。

→P.90

◆針の位置を自動的に補正します

万一、強い磁気や衝撃を受けて針の表示位置がずれた場合、ずれを自動的に補正します。

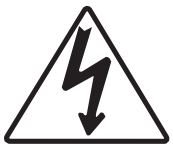
→P.94

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています
（左の例は感電注意）。

⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています
（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

スキューバダイビングには使用しないでください

本機をスキューバダイビングに使用しないでください。

- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。
ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

目次

この時計の特長.....2

安全上のご注意.....4

本書について.....16

本文中の記号について..... 16

各部の名称 17

文字板の表示について..... 18

ご使用になる前に.....20

りゅうずの操作..... 20

充電量の確認 22

時刻と日付の確認..... 24

光で充電（ソーラー充電）.....26

充電するには..... 26

充電不足や充電切れ..... 28

充電にかかる時間 29

節電（パワーセービング機能） 30

自動的に時計を合わせる（電波時計）.....32

電波の受信範囲と条件..... 34

受信場所 37
電波を受信するには 38
受信のご注意 45

モードの種類と切り替え 46

各モードでできること 46
モードの切り替え 48

ホーム都市の設定と時計の合わせ方 50

ホーム都市の設定 50
サマータイムの設定 53
時刻と日付の手動合わせ 56

方位計測 64

針の見方 64
方位を計測する 65
方位を補正する 68
方位計測のご注意 76

ワールドタイム 78

針の見方 78
ワールドタイム都市を選択する 79

ホーム都市とワールドタイム都市を入れ替える 81

ストップウオッチ 82

針の見方..... 82
計測する..... 83

タイマー.....86

針の見方..... 86
計測時間を設定する..... 87
計測する..... 88
タイムアップ音を止める 88

アラーム.....90

針の見方..... 90
アラーム時刻を設定する..... 91
アラームのON/OFFを切り替える 93
アラーム音を止める 93

針・日付のずれ補正.....94

針のずれを手動で補正する 95

お困りのときは.....98

針の動きと表示 98

りゅうずの操作……101
充電……101
電波受信……102
方位の計測……105
ワールドタイム……107
アラーム……107

製品仕様……108

ご使用上の注意……110

お手入れについて……118

本製品で使用している電池について……120

金属バンドの駒詰めについて……121

タイムゾーンとUTC（協定世界時）との時差……122

都市コード一覧表……124

本書について

本文中の記号について

注意：誤った使用方法によるけがや故障を防ぐための情報を記載しています。

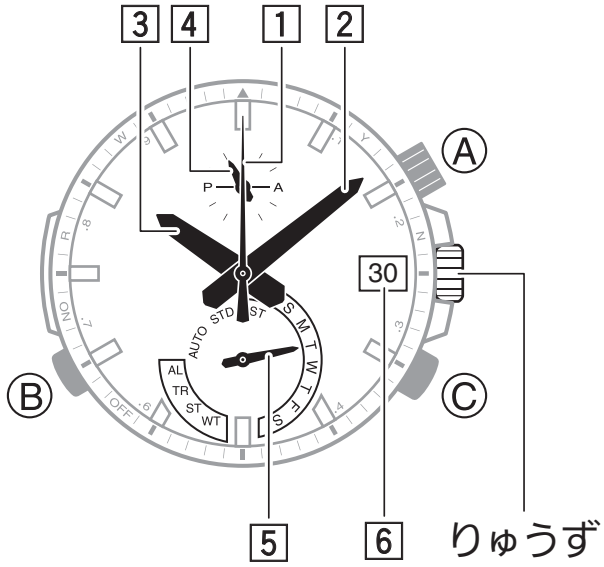
重要：正しく使用するために必要な情報を記載しています。

参考：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。

：詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

各部の名称

この時計の操作は、Ⓐ、Ⓑ、Ⓒボタンおよびりゅうずを使用します。また、各部の名称は次の通りです。



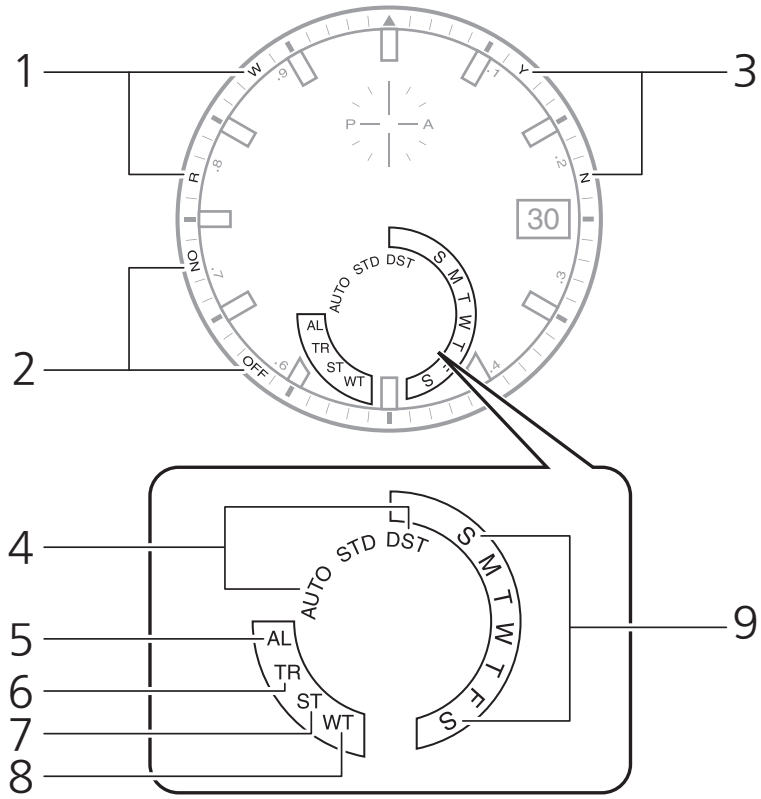
1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針（24時間制）
5 モード針:
時刻モードでは曜日を示します。
6 日付

参考

- この取扱説明書では針や表示を説明するために、図に記載した番号を使用しています。
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写を行っているものがあります。ご了承ください。

文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下の内容を表します。



1. R, W:電波の受信状態
   手動で電波を受信する…P.39
2. ON, OFF:アラームON/OFF
   アラームのON/OFFを切り替える…P.93

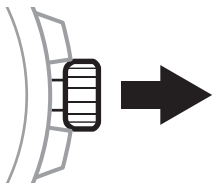
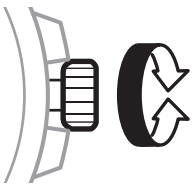
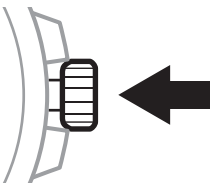
3. Y, N：受信結果、自動受信のON/OFF、2点補正の結果
   - 受信結果を確認する…P.42
   - 自動受信のON/OFF設定…P.43
   - 2点補正…P.69
   - 北方位補正…P.73
4. AUTO, STD, DST：サマータイムの設定
   - サマータイムの設定…P.53
5. AL：アラームモード
   - アラーム…P.90
6. TR：タイマーモード
   - タイマー…P.86
7. ST：ストップウオッチモード
   - ストップウオッチ…P.82
8. WT：ワールドタイムモード
   - ワールドタイム…P.78
9. S, M, T, W, T, F, S：曜日

ご使用になる前に

りゅうずの操作

りゅうずは引いてから回してください。

◆引く・回す・戻す

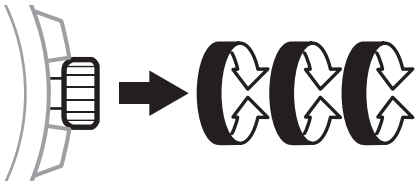
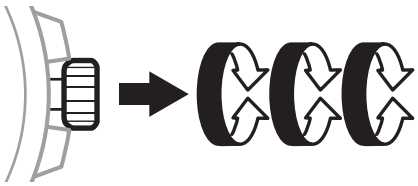
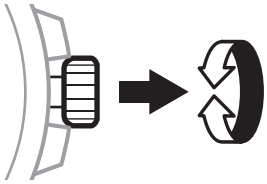
引く	回す	戻す
		

参考

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作を行わないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。
- りゅうずを操作した後は、ボタンの操作が効かなくなる場合があります。その場合は、りゅうずを少し動かしてから、ボタンを操作しなおしてください。

◆早送り・早戻し

りゅうずを回して針を動かすとき、以下の操作で針の動きを早送り／早戻しすることができます。早送り／早戻しには2段階あり、早送り2／早戻し2の状態で針がもっとも速く動きます。

早送り1/ 早戻し1		りゅうずを引いた状態で、時計方向（早送り）または、時計方向と逆（早戻し）に素早く繰り返し回す
早送り2/ 早戻し2		早送り 1/ 早戻し 1 のときに、りゅうずを素早く繰り返し回す
停止		りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押す

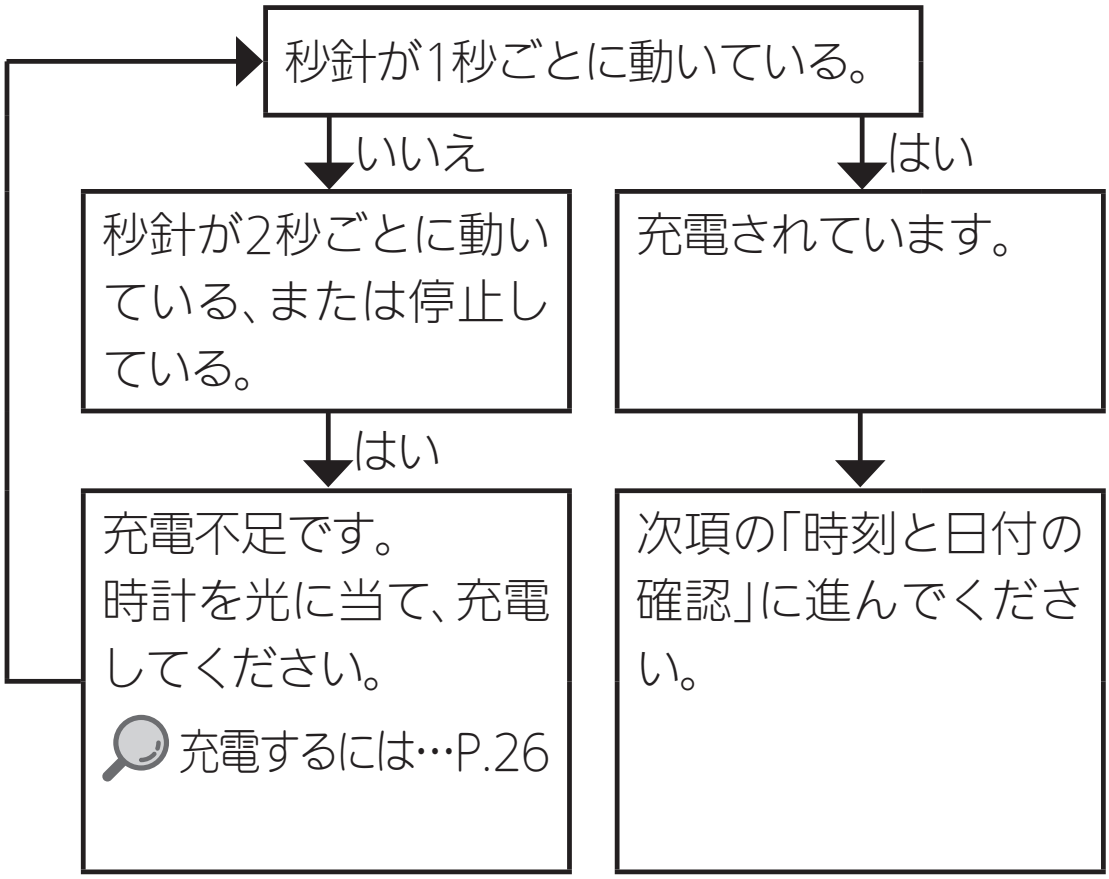
参考

- 早送り／早戻しは、時刻合わせ、タイマーの設定、アラーム時刻の設定、および日付のずれ補正で使うことができます。

充電量の確認

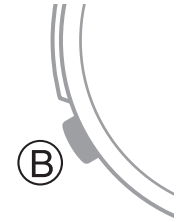
❶ ピッピッと音が鳴るまでⒷボタンを2秒以上押し続けて、時刻モードに切り替えます。

❷ チャートに従って、充電量を確認してください。



時刻と日付の確認

❶ ピッピッと音が鳴るまでⒷボタンを2秒以上押し続けて、時刻モードに切り替えます。



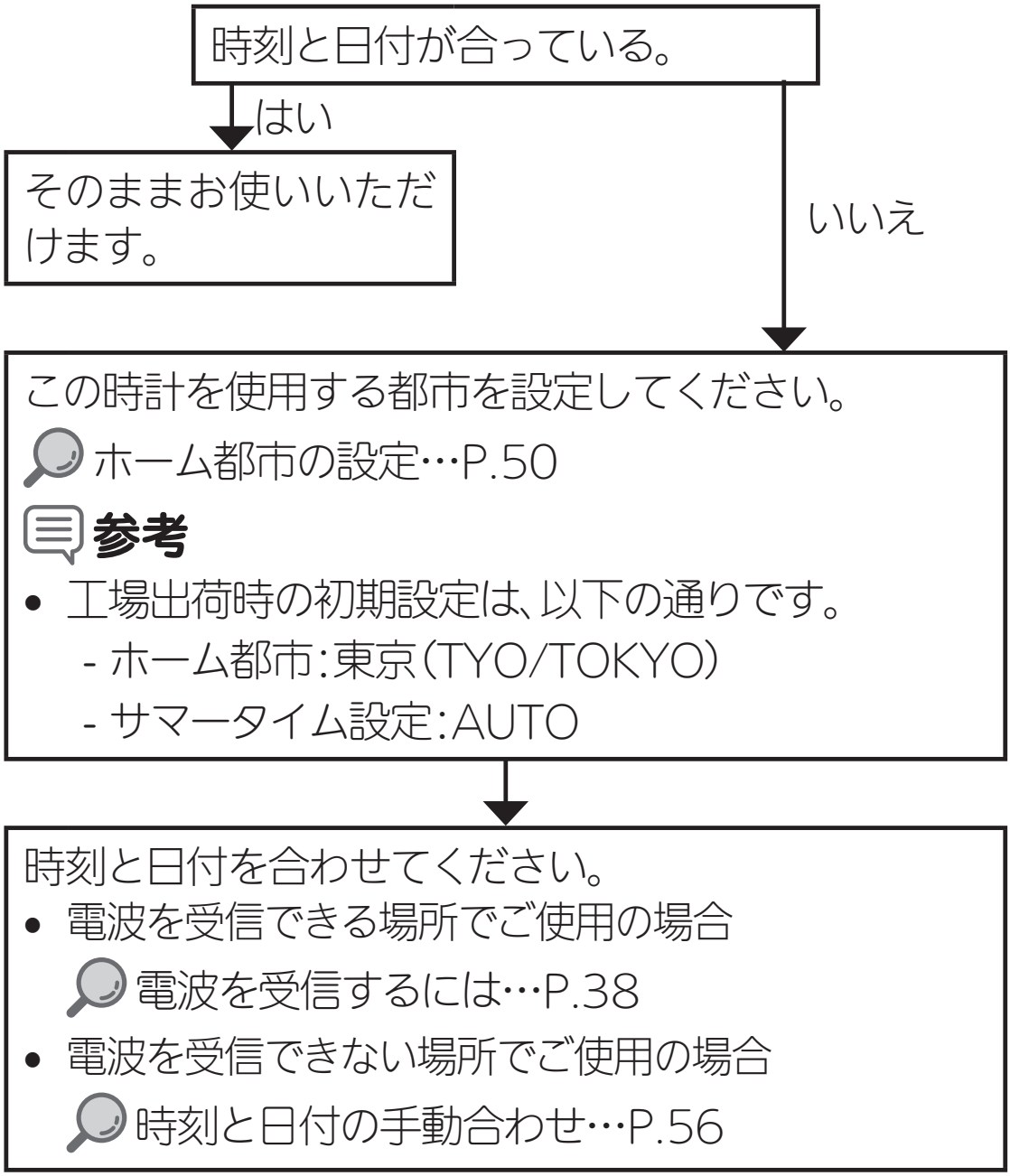
❷ チャートに従って、時刻と日付の表示を確認してください。

重要

- この時計を日本以外の国で使用する場合は、都市の設定が必要です。設定できる都市は、都市コード一覧表で確認できます。

  都市コード一覧表…P.124

- 都市を正しく設定しないと、以下の原因となります。
  - 電波を受信しない
  - 電波を受信しても、正しい時刻を表示しない

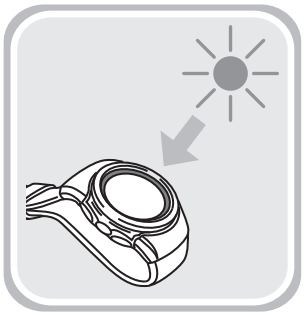

時刻と日付が合っている。
はい
そのままお使いいただけます。
いいえ
この時計を使用する都市を設定してください。
ホーム都市の設定…P.50
参考
• 工場出荷時の初期設定は、以下の通りです。
- ホーム都市：東京（TYO/TOKYO）
- サマータイム設定：AUTO
時刻と日付を合わせてください。
• 電波を受信できる場所でご使用の場合
電波を受信するには…P.38
• 電波を受信できない場所でご使用の場合
時刻と日付の手動合わせ…P.56

光で充電（ソーラー充電）

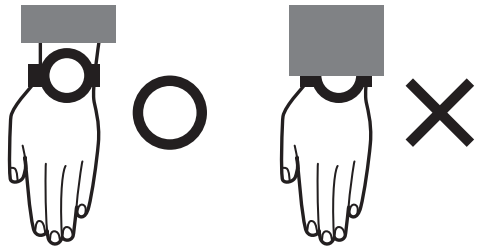
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっています。ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光を当てるように心がけてください。

- 文字板に光が当たっているときは、常に発電と充電を繰り返しています。

充電するには



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1か月に1回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

注意

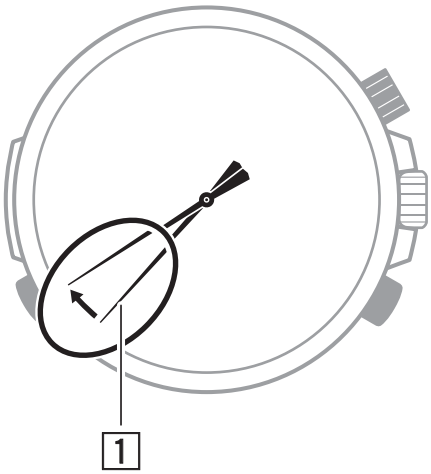
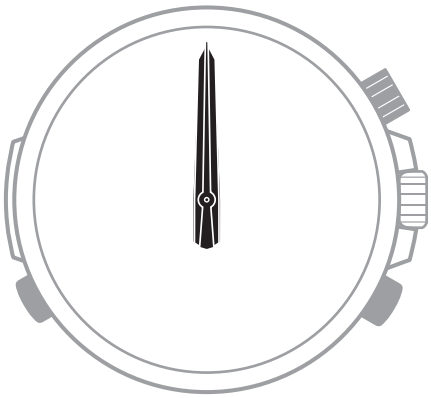
- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電不足や充電切れ

充電不足になると、使用できる機能が制限されます。充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

◆バッテリー充電警告機能

充電不足や充電切れになると、時刻モードの針の動きで確認できます。

充電不足	充電切れ
	
1秒針が2秒ごとに動きます	すべての針が12時位置で停止します

充電切れのときに、しばらく光を当て続けると、1秒針が反時計回りに動き「57秒」の位置で停止します。これは、充電を開始したことを示します。充電時間については、次をご覧ください。

充電にかかる時間

充電の目安として、下表をご活用ください。

◆1日、使用するために必要な充電時間

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	8分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	30分
曇りの日の窓際など（5,000ルクス）	48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	8時間

◆充電量の回復に必要な時間

環境（照度）	充電切れから時計が動き出すまで	時計が動き出してから満充電まで
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	2時間	27時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	6時間	99時間
曇りの日の窓際など（5,000ルクス）	10時間	161時間
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	111時間	—

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

節電（パワーセービング機能）

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。
節電状態には、秒針スリープと機能スリープの2段階があります。以下の条件により切り替わります。

節電状態	スリープまでの所要時間	針の機能の状態
秒針スリープ	暗い場所に置いてから約1時間	1秒針が12時位置で停止します。
機能スリープ	秒針スリープのまま約1週間	• すべての針が12時位置で停止します。 • 日付表示のみ通常通り作動します。

参考

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
  - ボタンまたはりゅうずを操作する
  - 時計を明るい場所に置く
- 午前6時から午後9時59分の間は節電状態になりません。午前6時の時点で、すでに節電状態の場合は節電状態を維持します。
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- ストップウオッチモード、タイマーモードのときは節電状態になりません。

自動的に時計を合わせる(電波時計)

この時計は、時刻情報を乗せた標準電波(以降、電波)を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

重要

- 電波を受信するためには、受信機能に対応している都市を設定しておく必要があります。

ホーム都市の設定…P.50

参考

- 日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。購入時の初期設定は以下の通りです。
  - ホーム都市:東京(TYO/TOKYO)
  - サマータイム設定:AUTO

受信機能に対応している地域の代表都市

ホーム都市	受信する電波
TOKYO（TYO）	日本の標準電波（JJY）
HONG KONG（HKG）	中国の標準電波（BPC）
LOS ANGELES（LAX）/ DENVER（DEN）/ CHICAGO（CHI）/ NEW YORK（NYC）/ HONOLULU（HNL）/ ANCHORAGE（ANC）	アメリカの標準電波 （WWVB）
LONDON（LON）/ PARIS（PAR）/ATHENS（ATH）	イギリスの標準電波（MSF） ドイツの標準電波（DCF77）

都市コード一覧表…P.124

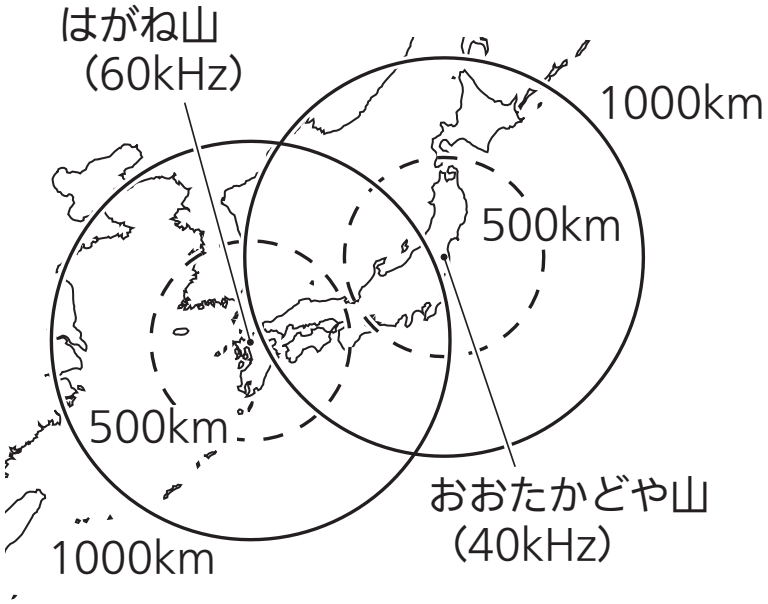
重要

- 電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻を設定してください。

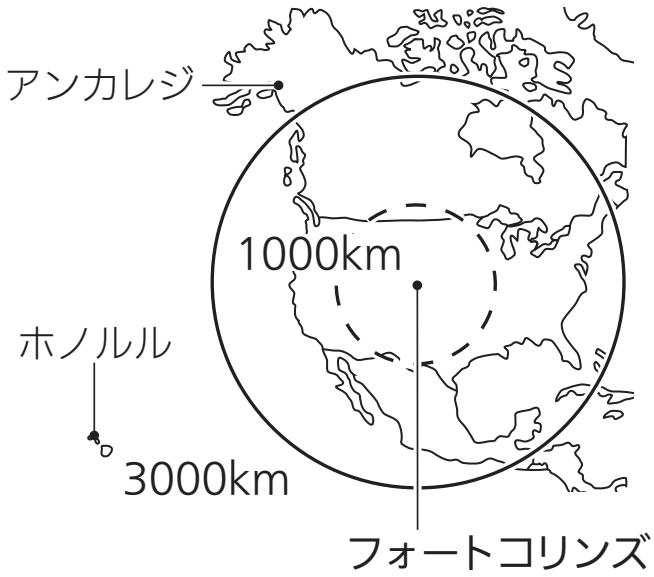
ホーム都市の設定と時計の合わせ方…P.50

電波の受信範囲と条件

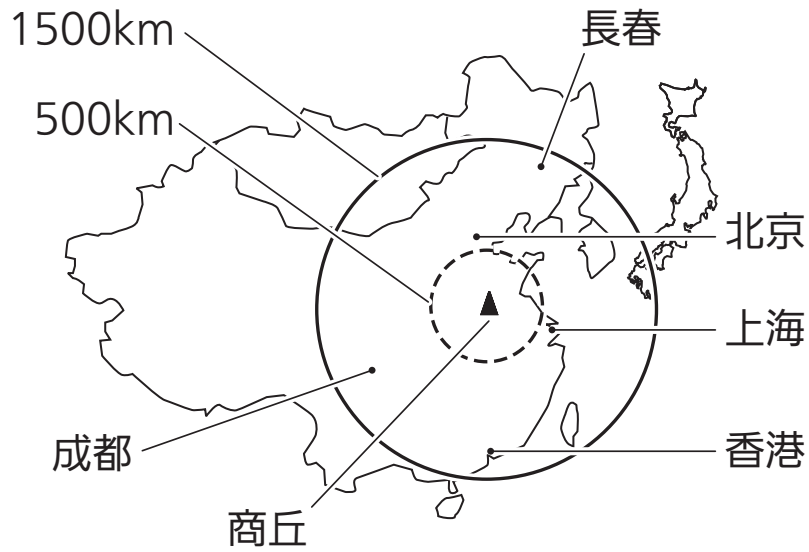
＜日本（JJY）＞



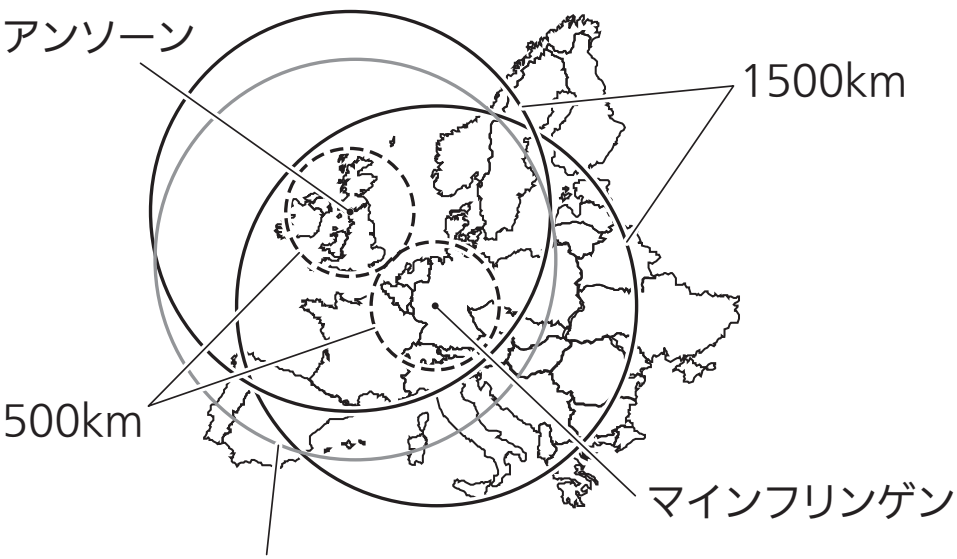
＜アメリカ（WWVB）＞



＜中国（BPC）＞



＜イギリス（MSF）／ドイツ（DCF77）＞

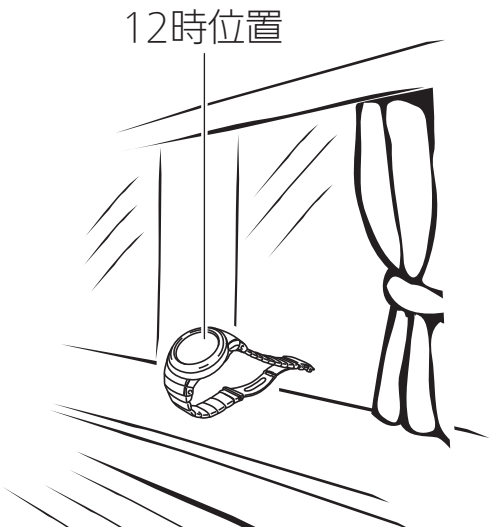


アンソーンから送信されている電波は、
この範囲でも受信できます。

参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。
  内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
  ホノルルおよびアンカレジの地域は電波の受信範囲外ですが、条件が良いときは受信できます。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。
- 中国は2014年6月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

受信場所



- 金属を避けて、時計の12時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波を受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側

電波を受信するには

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。
受信には2～10分かかりますが、状況によっては最大で20分かかる場合もあります。

重要

- 時刻モードのときのみ受信します。

◆自動的に電波を受信する

❶ 時計を受信しやすい場所に置いてください。

午前12時から午前5時の間に、1日最大6回（中国は1日最大5回）自動で受信します。ただし1日1回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

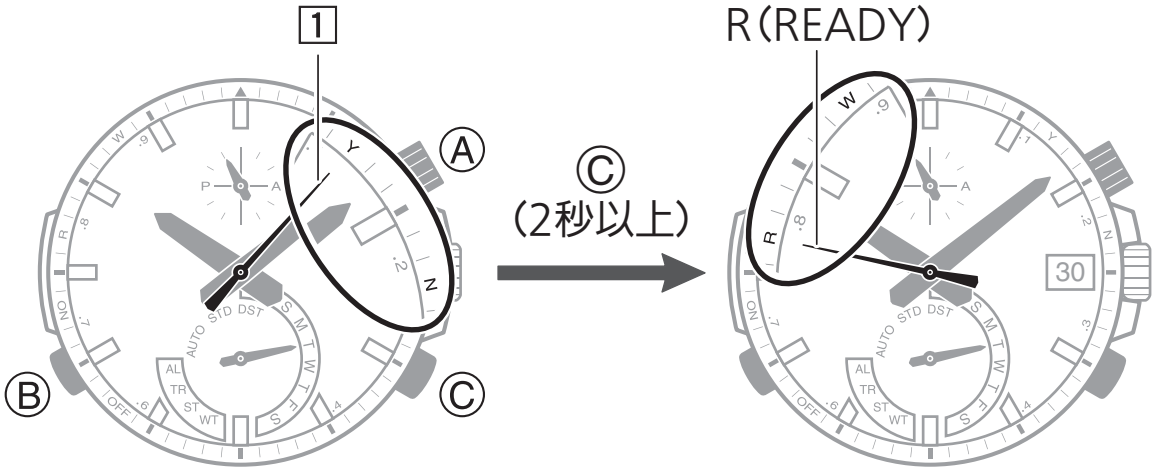
❷ 受信が成功すると自動的に時刻を修正し、正確な時刻を表示します。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

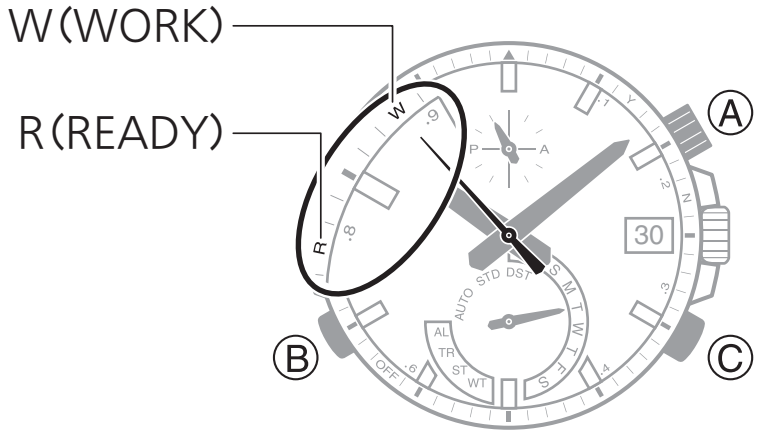
◆手動で電波を受信する

❶ 時刻モード（P.48）で、Ⓒボタンを2秒以上押し続けると受信を開始します。

1 秒針が前回の受信結果「Y」（YES）または「N」（NO）を示した後、「R」（READY）に移動します。



❷ 電波を受信しているときは、1 秒針が「R」または「W」を示し、現在の受信状況を表示します。



1 秒針の表示と受信状況

R(READY)	受信が不安定です
W(WORK)	受信が安定しています

参考

- 受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒かかります。
- 受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

❸ 受信に成功すると自動的に時刻を修正し、正確な時刻を表示します。

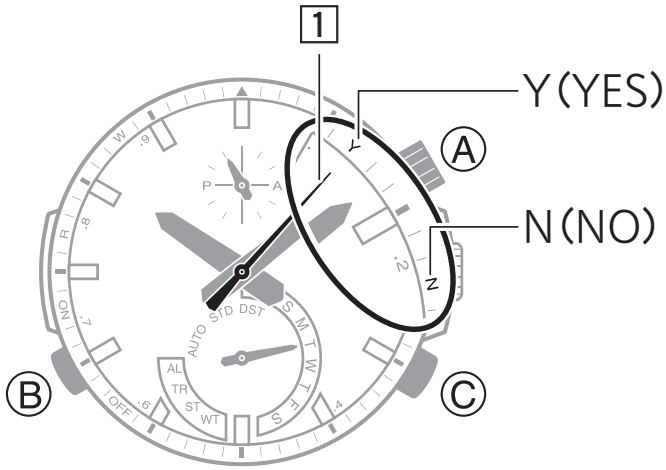
参考

- 受信に失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作をしてください。

受信場所…P.37

◆受信結果を確認する

❶ 時刻モードでⒸボタンを押すと、前回の受信結果を表示します。



1 秒針の表示と受信結果

Y(YES)	受信成功
N(NO)	受信失敗

❷ Ⓒボタンを押す、または何も操作をしないまま約10秒経過すると現在時刻に戻ります。

参考

- 受信が成功していても、その後に手動で時刻や日付を変更した場合は、1秒針が「N」を示します。

◆自動受信のON/OFF設定

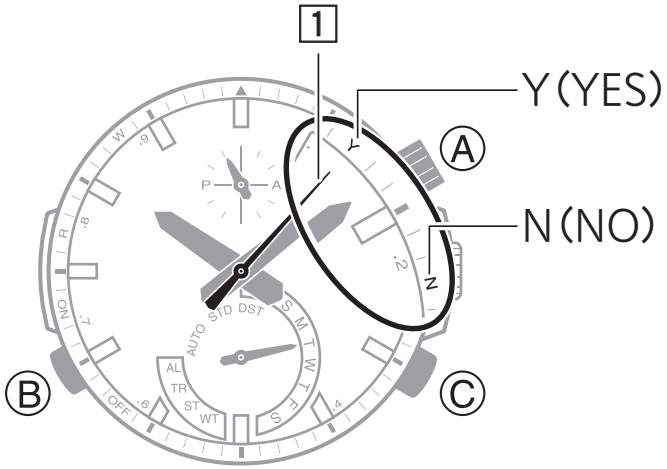
自動受信の設定をOFFにして自動受信機能を停止させることができます。

参考

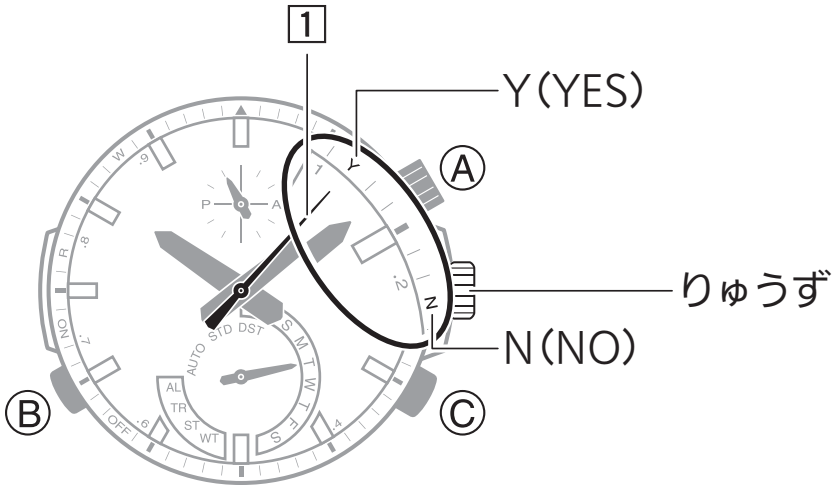
- 電波の受信に対応している都市を設定している場合は、自動受信のON/OFF設定ができます。

受信機能に対応している地域の代表都市…P.33

❶時刻モードでⒸボタンを押すと、前回の受信結果を表示します。



❷りゅうずを引くと、1秒針が1周して現在の設定を示します。



❸りゅうずを回して、設定したい位置に1秒針を合わせます。

- 自動受信ONなら「Y」(YES)
- 自動受信OFFなら「N」(NO)

❹りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

重要

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度手順1から操作してください。

受信のご注意

- 電波を受信して自動的に時刻を修正する際に、時計内部の演算処理などにより若干（1秒未満）のずれが発生します。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態（機能スリープ）のとき
  - 時刻モード以外のとき
  - 時刻モードでも、方位計測しているとき、タイマーが動いているとき
- 受信中にアラーム音が鳴ったときは、受信を中止します。
- 電波の受信による時刻の修正ができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。

モードの種類と切り替え

この時計には、機能に応じた5つのモードがあります。各モードでできることとモード切り替え方法は以下の通りです。

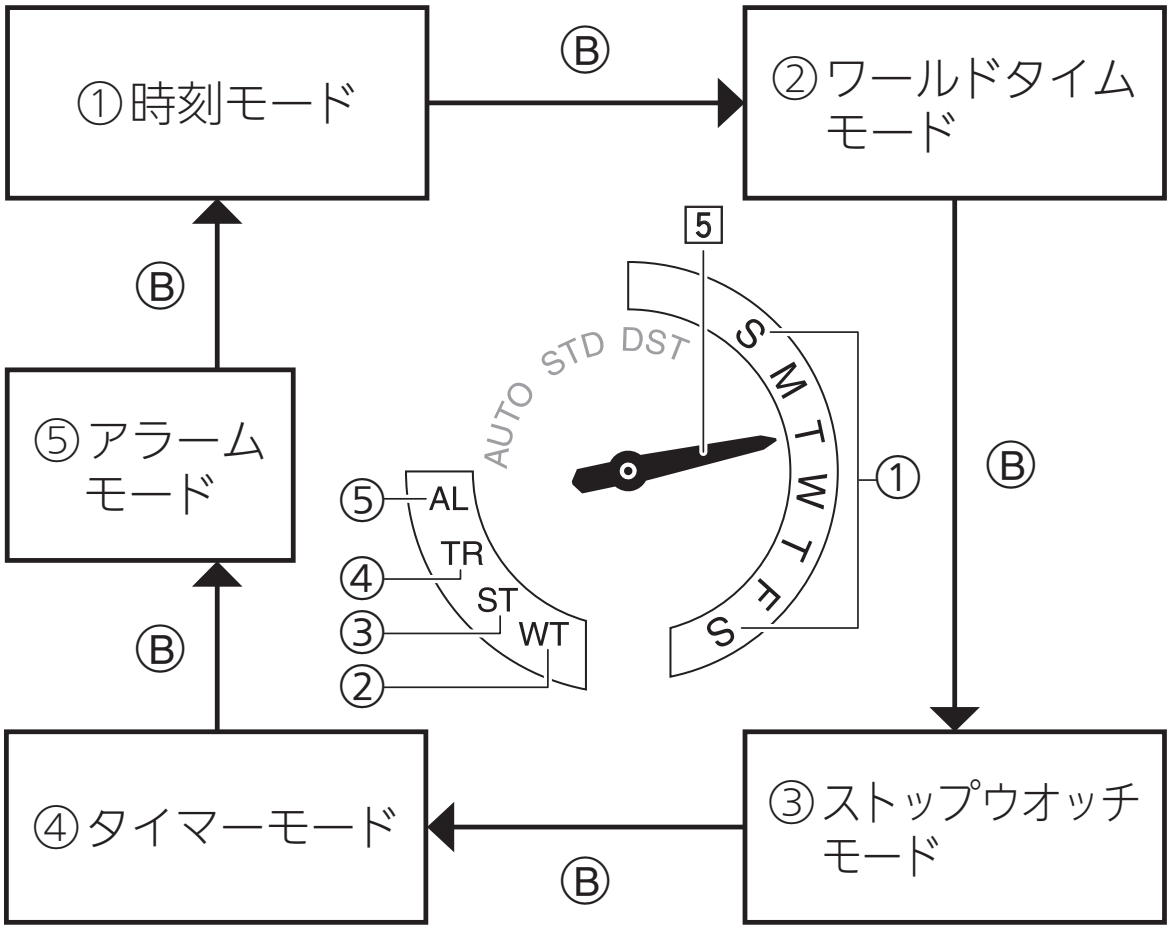
各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	• ホーム都市、サマータイムの設定 • 電波受信、受信結果の表示 • 電波の自動受信のON/OFF設定 • 時刻、日付の手動合わせ • 方位計測	P.50 P.38 P.43 P.56 P.64
ワールドタイム	• 世界29都市(29タイムゾーン)の時刻を表示 • ワールドタイム都市、サマータイムの設定 • ホーム都市とワールドタイム都市の入れ替え	P.78 P.79 P.81
ストップウオッチ	• 1/20(0.05)秒単位での時間計測 • フライバック計測	P.82 P.83

モード	機能	参照ページ
タイマー	• タイマーの設定、計測	P.87
アラーム	• アラーム時刻の設定 • アラームのON/OFFの切り替え	P.91 P.93

モードの切り替え

Ⓑボタンを押すごとにモードが切り替わり、5モード針が各モードを示す位置に移動します。



参考

- どのモードからでも、Ⓑボタンをピッピッと音が鳴るまで(2秒以上)押し続けると、時刻モードに切り替わります。

ホーム都市の設定と時計の合わせ方

この時計は、世界29都市とUTC（協定世界時）の中から、使用する都市をホーム都市に設定すれば、自動的に都市の現在時刻を表示します。

ホーム都市の設定

設定できる都市は、都市コード一覧表にある都市です。

都市コード一覧表にない都市でこの時計を使用するときは、同じタイムゾーンの都市を設定します。タイムゾーンは巻末の「タイムゾーンとUTC（協定世界時）との時差」で確認できます。

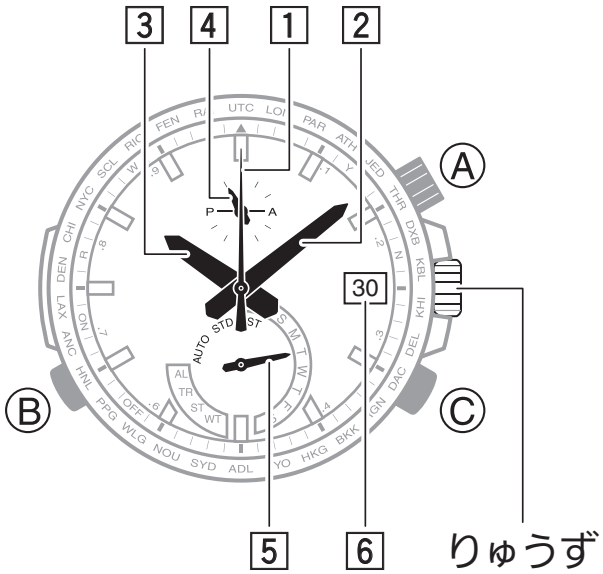
タイムゾーンとUTC（協定世界時）との時差…P.122

都市コード一覧表…P.124

重要

- ホーム都市を正しく設定しないと、電波を受信できる場所にいても受信できないほか、ワールドタイムモードで時刻を正しく表示しない原因になります。
- この時計を日本で使用する場合は、都市を東京（TYO/TOKYO）に設定します。

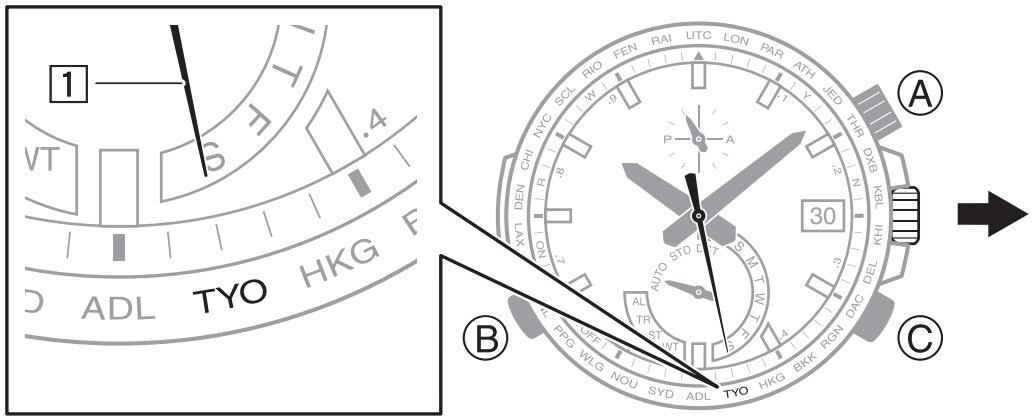
◆ホーム都市を変更する



1 秒針:都市コードを示します。
2 分針
3 時針
4 時針(24時間制)
5 モード針:サマータイム設定を表示します。
6 日付

❶ りゅうずを引きます。

- ホーム都市を変更できる状態になります。
- 1 秒針が現在選択している都市コードを示します。



❷ りゅうずを回し、1 秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。

都市を変更すると、2 分針、3 時針、4 時針（24時間制）および6 日付が動き、選択した都市の時刻、日付を表示します。

❸ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

参考

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

サマータイムの設定

この時計は、都市ごとにサマータイムを設定できます。
各都市のサマータイムの設定は、「AUTO」が初期状態です。
サマータイムの設定が「AUTO」であれば、自動でサマータイムへ切り替わるので、設定を変更する必要はありません。
ただし、次の場合は「AUTO」から、「STD」または「DST」に設定を変更してご使用ください。

- 都市コード一覧表にない都市で使用する場合
- サマータイムの実施期間が異なる場合

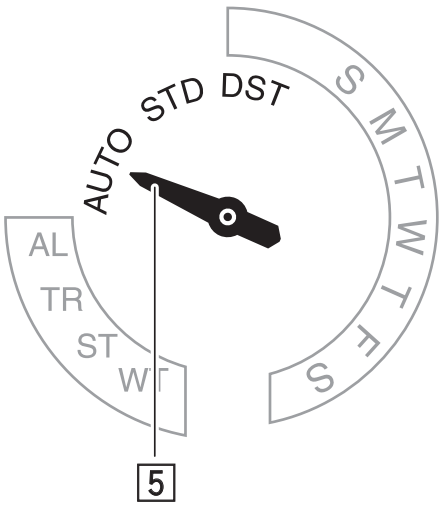
参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（STD：スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。
  サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

都市コード一覧表…P.124

サマータイムの設定内容

AUTO (STD/DST自動切り替え)	スタンダードタイムとサマータイムが日時によって自動で切り替わります。
STD (STD固定)	常にスタンダードタイムを表示します。
DST (DST固定)	常にサマータイムを表示します。



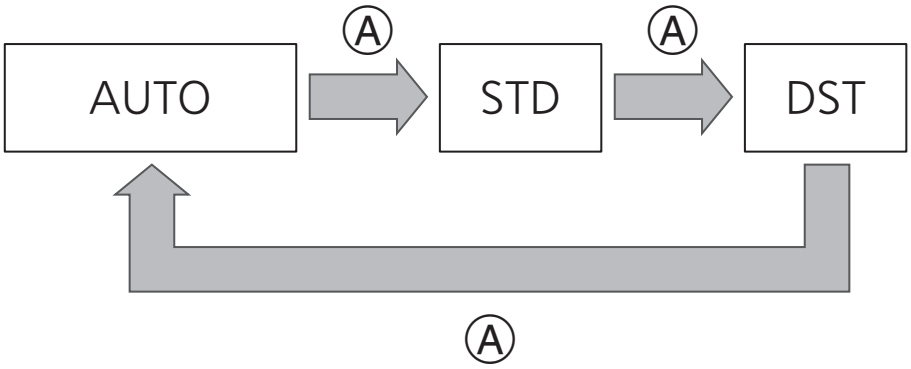
◆サマータイムの設定を切り替える

❶りゅうずを引き、都市コードセット状態にします。

5 モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷Ⓐボタンを1秒間押し続けます。

Ⓐボタンを1秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番で切り替わります。



❸りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

時刻と日付の手動合わせ

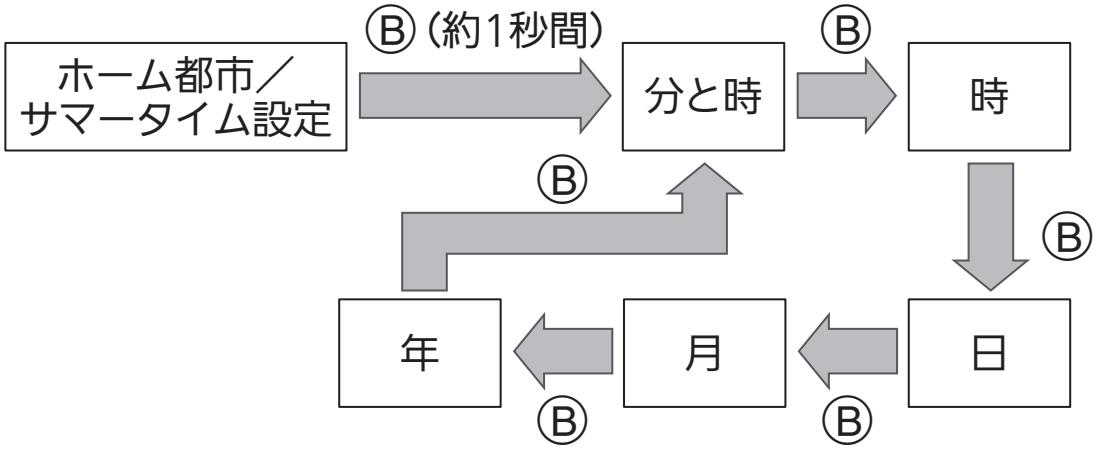
電波を受信できない地域で使用するときは、時刻と日付を手動で合わせます。

重要

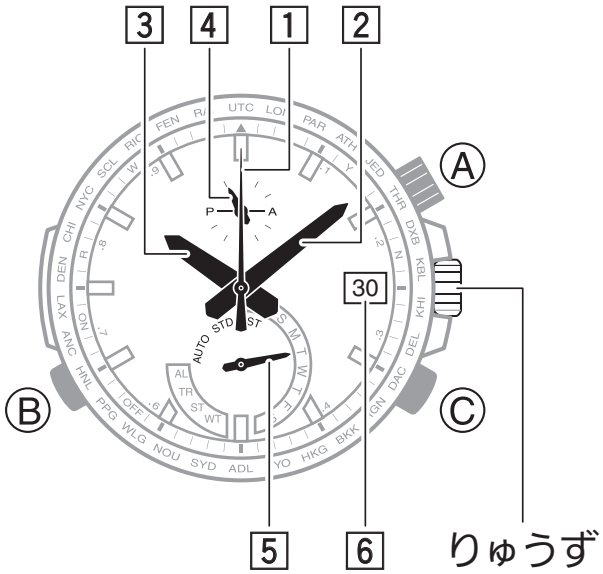
- 時刻と日付を合わせる前に、ホーム都市を設定してください(P.50)。
- 電波を受信できる地域で使用しているときは、電波の受信による時刻と日付の修正をおすすめします。

りゅうずを引いてホーム都市設定状態にした後、Ⓑボタンを押すごとに、設定できる箇所が以下の順で移動します。

- 該当箇所の針が動きます。
  「時」では3時針、「日」では6日付が少し動きます。
  「月」では1秒針、「年」では3時針、2分針、1秒針が動きます。



◆時刻の合わせ方



1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針(24時間制)
5 モード針:サマータイム設定を表示します。
6 日付

❶ りゅうずを引きます。

1秒針が現在選択している都市コードを示し、5モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷ Ⓑボタンを、ピッと音が鳴り、1秒針が12時位置を示すまで（約1秒間）押し続けます。

時刻の手動合わせ状態になります。

❸ りゅうずを回し、「分」を合わせます。

- りゅうずを回し続けると「時」も合わせることができます。
- 針は早送り／早戻しすることができます。

りゅうずの操作…P.20

❹ Ⓑボタンを押します。

3時針がわずかに動いて、「時」を設定できる状態になったことをお知らせします。

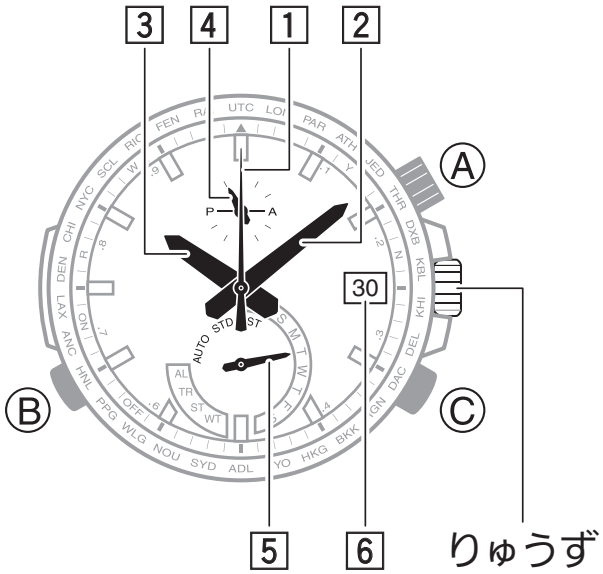
❺ りゅうずを回し、「時」を合わせます。

- 針は早送り／早戻しすることができます。
- 引き続き日付を調整するときは、Ⓑボタンを押して「日付の合わせ方」手順4（P.60）から操作します。

❻ 時報に合わせて、りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

◆日付の合わせ方



1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針(24時間制)
5 モード針:サマータイム設定を表示します。
6 日付

❶ りゅうずを引きます。

1 秒針が現在選択している都市コードを示し、5 モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

❷ Ⓑボタンを、ピッと音が鳴り、1 秒針が12時位置を示すまで（約1秒間）押し続けます。

時刻の手動合わせ状態になります。

❸ Ⓑボタンを2回押して、「日」を設定できる状態にします。

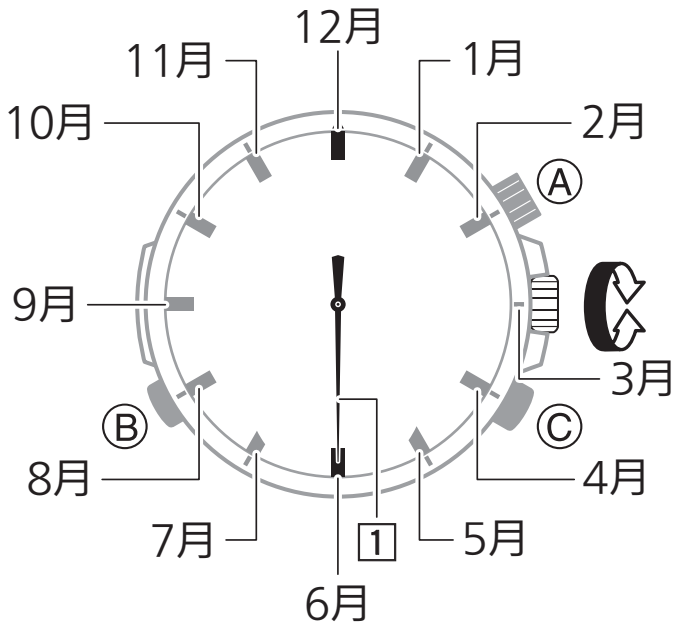
6 日付がわずかに回転して、「日」を設定できる状態になったことをお知らせします。

❹ りゅうずを回し、「日」を合わせます。

❺ Ⓑボタンを押して、「月」を設定できる状態にします。

1 秒針が現在の月まで移動します。

❻ りゅうずを回し、「月」を合わせます。

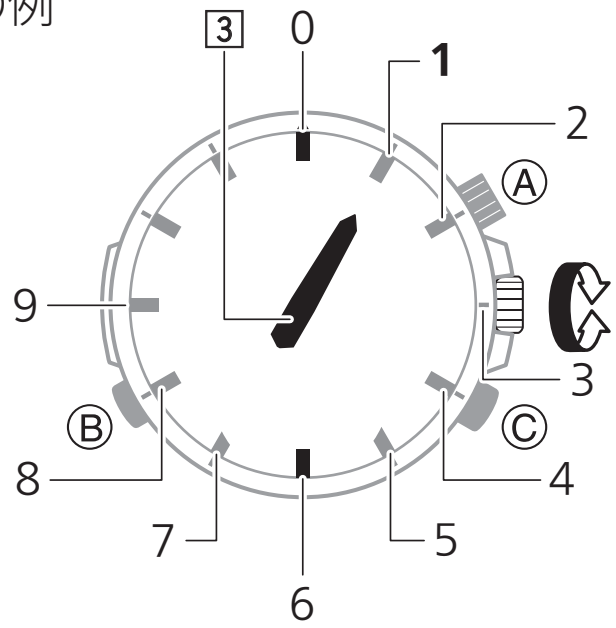


❼ Ⓑボタンを押して、「年」を設定できる状態にします。

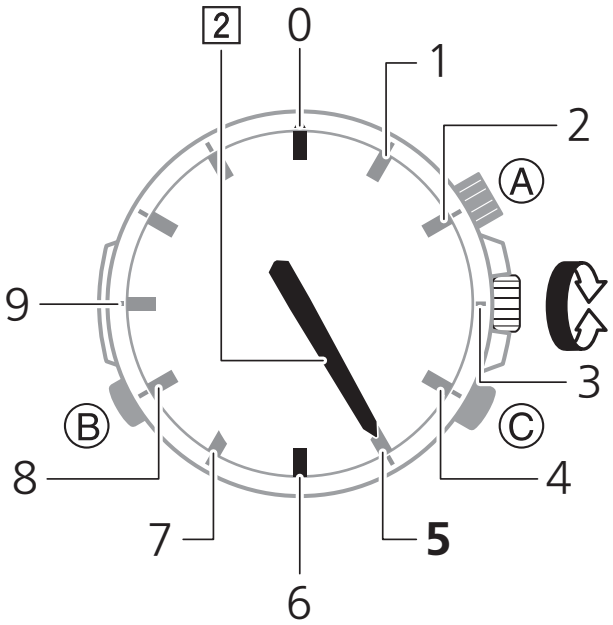
- 3時針：西暦の10の位を表示します。
- 2分針：西暦の1の位を表示します。
- 1秒針：12時位置に移動します。

⑧ りゅうずを回し、「年」を合わせます。

2015年の例



〈西暦の10の位〉



〈西暦の1の位〉

参考

- 引き続き時刻を調整するときは、Ⓑボタンを押して「時刻の合わせ方」手順3（P.58）から操作します。

❾ りゅうずを戻します。

時刻の表示に戻ります。

参考

- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

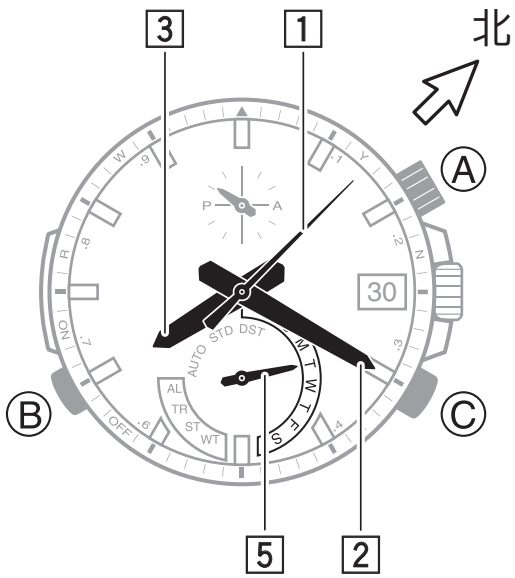
方位計測

北の方向や目標の方位を調べることができます。

重要

- 正確に計測するために、「方位を補正する」(P.68)、「方位計測のご注意」(P.76)をご覧ください。

針の見方



1 秒針:北方位を示します。
2 分針
3 時針
5 モード針:曜日を示します。

方位を計測する

❶ 時計の12時位置を計測したい方向に向けて、水平に保ちます。

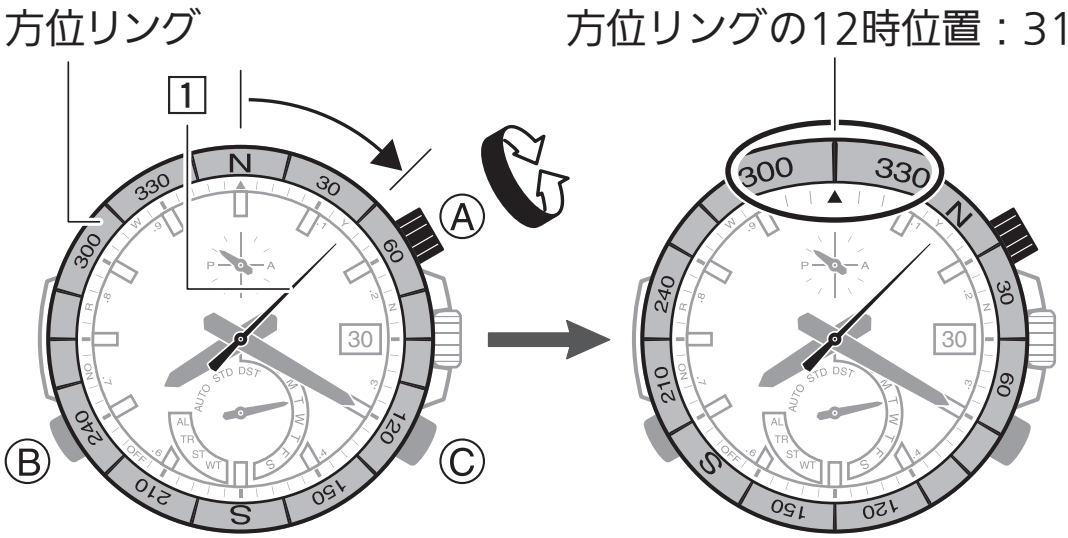
❷ 時刻モードでⒶボタンを押します。

1 秒針が 12 時位置を指して、計測を開始します。計測開始から約 2 秒後に、1 秒針が北方位を示します。

＜方位リング付きのモデルの場合＞

❸ Ⓐボタンを回して、方位リングの[N]を秒針が示す北方位に合わせます。

計測したい方向を、方位リングの12時位置から読み取ってください。



- 1秒針が示すのは磁北です。

  磁北と真北…P.76
- 北方位を示してからも計測を続けています。1秒針の方位は20秒くらいで固定されます。
- 再計測するときは、もう一度Ⓐボタンを押してください。
- 1〜2分で現在時刻の表示に戻ります。
- 途中で計測を中止したいときは、Ⓑボタンを押すと時刻モードに戻ります。

重要

- 手順２で 1 秒針が 12 時位置と違う方向を指した場合は、針がずれている可能性があります。針のずれを補正してください。

  針・日付のずれ補正…P.94
- 計測中に、3時針が6時、2分針が12時の位置になった場合、異常な磁気を検出したことが考えられます。「異常磁気検出状態（下記）になった」（P.105）をご覧ください。

＜方位リング付きのモデルの場合＞

◆使用例：目標（目的地）の方向を確認しながら進む

目的地が見えなくても、地図に載っている目的地の方向を12時位置にセットし、それを頼りに目的地へ近づくことができます。

❶ 整置をします。

地図の向きと実際の風景を合わせる（整置）…P.68

❷ 地図上の現在地に時計を置き、時計の12時位置を地図上の目的地へ向けます。

❸ 方位を計測し、方位リングを合わせます。

「方位を計測する」の手順2,3…P.65

❹ 目的地の方向を確認しながら進みます。

北方位を計測し、秒針が示した方向に、方位リングの［N］位置を時計ごと向けてください。時計の12時位置が目的地の方向です。

重要

- 自分が移動するにつれて目的地の方向も変化しますので、方位リングはなるべくこまめに合わせなおしてください。

◆地図の向きと実際の風景を合わせる（整置）

地図の向きを、この時計で計測した北方向に合わせれば、地図と周囲の風景を見比べて現在地を確認できます。これを一般に「整置」と呼びます。

方位を補正する

計測の精度を上げるため、計測の前に以下の方法で方位を補正してください。

◆この時計で利用できる方位補正方法

2点補正	磁力が影響する環境で計測するときや、ほかの正確な方位計と比べて、計測した方位が正しくない時に使います。
北方位補正	正確な磁北や真北がわかっているときに、北を合わせるために使います。

磁北と真北…P.76

重要

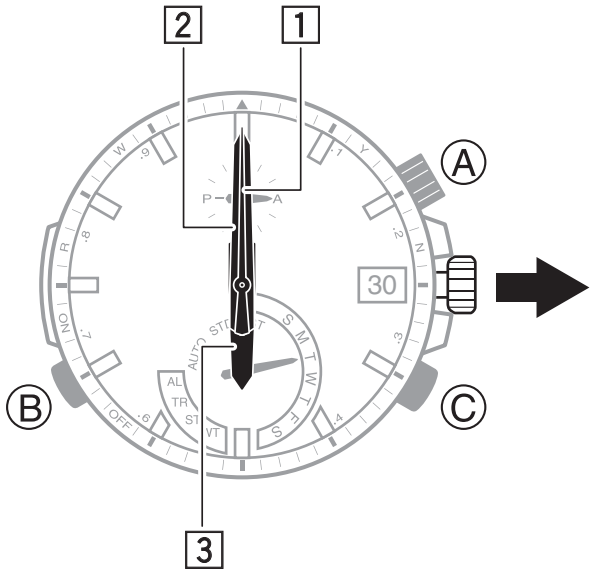
- 補正中は、時計を水平にして動かさないでください。
- 予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、2点補正をしてください。なお、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

使用場所…P.77

◆2点補正

❶ 方位計測中に、りゅうずを引きます。

以下の位置に針が移動します。



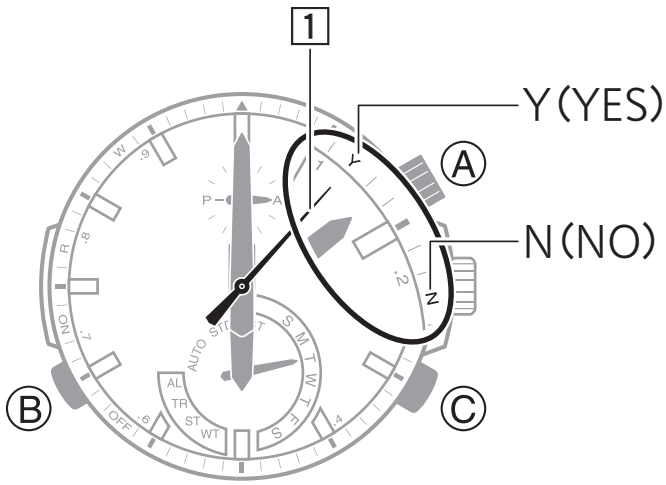
1 秒針／2 分針：12時位置

3 時針：6時位置

❷ Ⓐボタンを押します。

約7秒後、1秒針が「Y」または「N」に移動します。

- 「Y」や「N」を示すまで時計を動かさないでください。

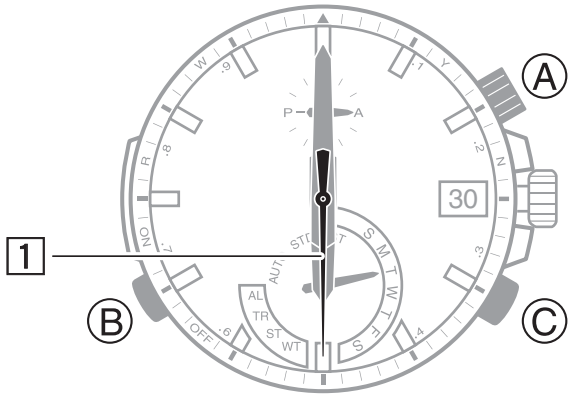


Y(YES) : 1 点目の補正は完了です。

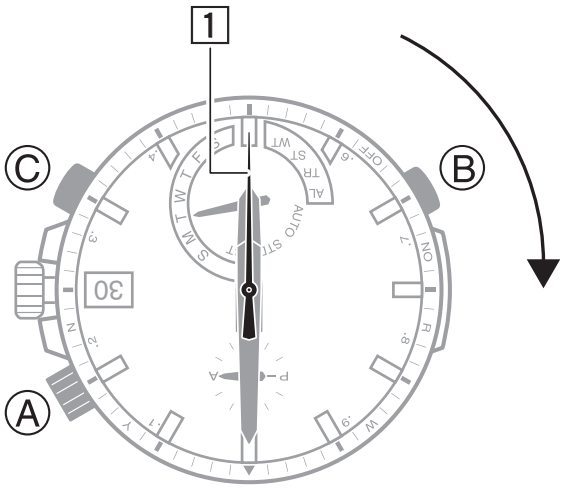
N(NO) : もう一度 Ⓐ ボタンを押して補正してください。

「Y」を示した2秒後に、1 秒針は6時の位置に移動します。

これで、2点目の補正計測の準備ができました。



❸ 時計を180度回転させます。



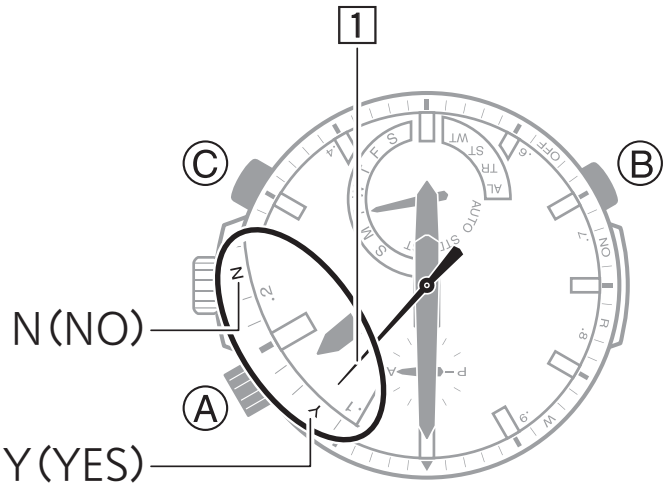
重要

- 正確に180度反対方向にしてください。

❹ Ⓐボタンを押します。

約7秒後、1 秒針が「Y」または「N」に移動します。

- 「Y」や「N」を示すまで時計を動かさないでください。



Y(YES) :2 点補正は完了です。

N(NO) :もう一度手順 2 から操作してください。

❺ りゅうずを戻します。

補正が確定し、方位計測を開始します。

補正が完了していないときは、補正中の処理は取り消されます。

◆北方位補正

重要

- 2点補正と北方位補正をともに行うときは、以下の順に操作してください。

  1. 2点補正
  2. 北方位補正

  操作の順を誤ると、北方位補正で設定した方位が解除されます。

❶ 方位計測中に、りゅうずを引きます。

以下の位置に針が移動します。

1 秒針／2 分針：12時位置

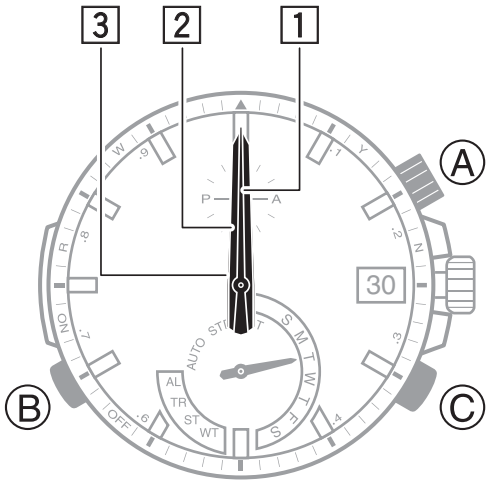
3 時針：6時位置

- 2点補正の手順1と同じ状態になります。

2点補正…P.69

❷ Ⓑボタンを押します。

以下の位置に針が移動します。



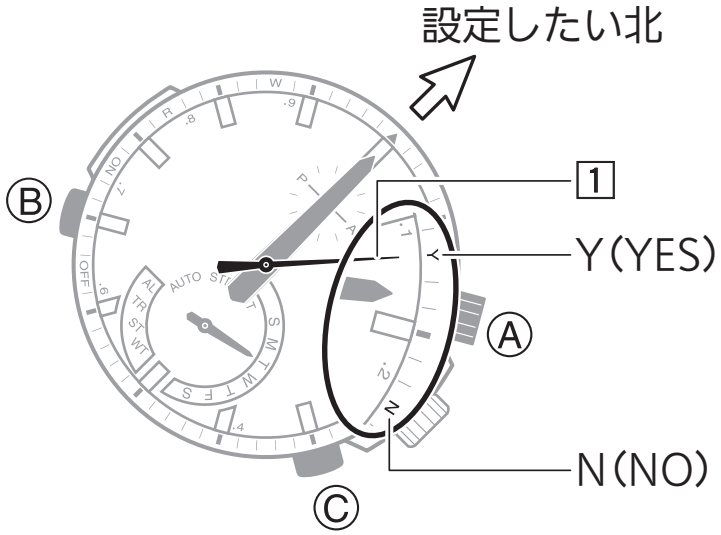
1 秒針／2 分針／3 時針：12時位置

❸ 時計の12時位置を設定したい北に向けます。

❹ Ⓐボタンを押します。

約7秒後、1 秒針が「Y」または「N」に移動します。

- 「Y」や「N」を示すまで時計を動かさないでください。



Y(YES) :北方位補正は完了です。

N(NO) :もう一度 Ⓐ ボタンを押して補正してください。

❺ りゅうずを戻します。

補正が確定し、方位計測を開始します。

補正が完了していないときは、補正中の処理は取り消されます。

参考

- 北方位補正を解除するには、2点補正を行ってください。

2 点補正…P.69

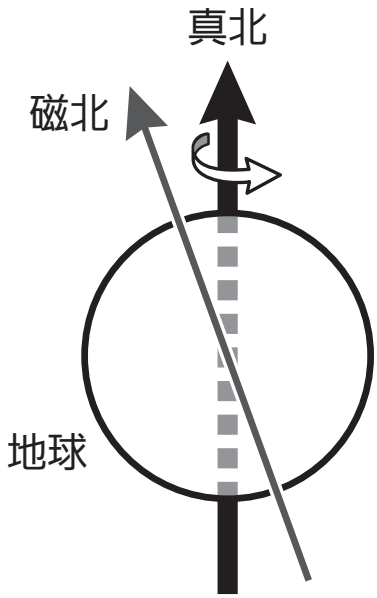
方位計測のご注意

◆磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北:コンパス(方位磁針)が示す北
真北:北極点の方向

下図のように、磁北と真北は一致していません。



- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

◆使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下のものから離れてご使用ください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では、正確な計測はできません。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

◆保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下のものの近くには置かないでください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、
家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

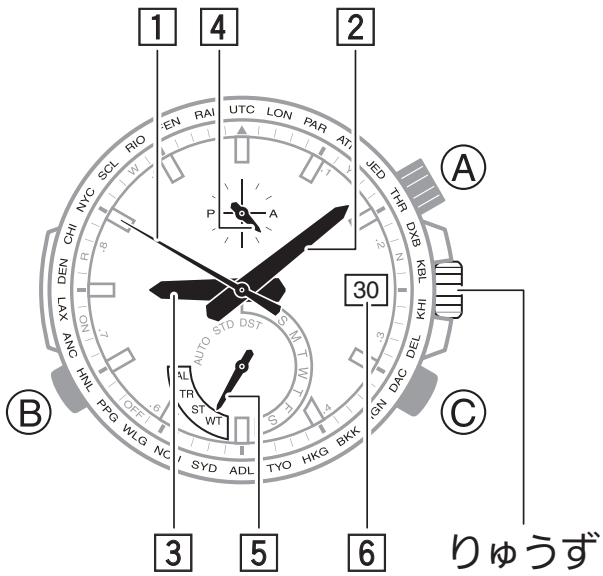
◆方位計測中の動作

方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときは、一時的に計測を中止し、アラーム音の後に計測を再開します。

ワールドタイム

世界29都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。ワールドタイムモードで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

針の見方



1 秒針：ワールドタイムモードになると、最初の約3秒間ワールドタイム都市を示します。
2 分針／3 時針／4 時針（24時間制）：
ワールドタイム都市の時刻を表示します。
5 モード針：ワールドタイムモード「WT」を示します。
6 日付

- Ⓐボタンを押すと、1秒針がワールドタイム都市を約3秒間示します。

重要

- ワールドタイムモードのときは、電波を受信しません。

ワールドタイム都市を選択する

❶ 時刻モードでⒷボタンを1回押し、ワールドタイムモードに切り替えます。

- 5 モード針が、「WT」を示します。
- 「UTC」に設定するときは、Ⓒボタンを約3秒間押すだけで設定できます。以後の操作は不要です。

❷ りゅうずを引きます。

ワールドタイム都市を変更できる状態になります。

❸ りゅうずを回し、1 秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。

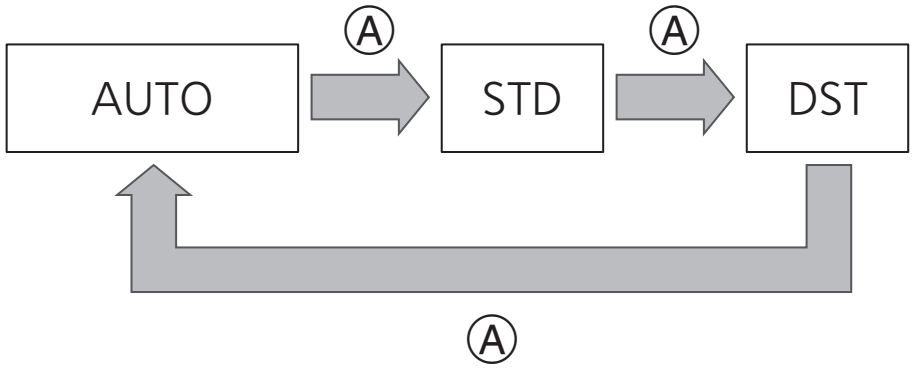
- 都市コードを選択すると、3 時針、2 分針および6 日付が動き、選択した都市の時刻を表示します。
- 5 モード針が、サマータイムの設定を示します。

タイムゾーンとUTC(協定世界時)との時差…P.122

都市コード一覧表…P.124

❹ サマータイムの設定を変更するには、Ⓐボタンを1秒間押し続けます。

Ⓐボタンを1秒間押すごとに、サマータイムの設定が、次の順番で切り替わります。



サマータイムの設定…P.53

参考

- 都市コードで「UTC」を選択しているときは、サマータイムの設定はできません。

❺ りゅうずを戻します。

参考

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

ホーム都市とワールドタイム都市を入れ替える

例:ホーム都市が東京(TYO/TOKYO)で、ワールドタイム都市がニューヨーク(NYC/NEW YORK)の場合

	ホーム都市	ワールドタイム都市
操作前	東京 午後10時08分 (スタンダードタイム)	ニューヨーク 午前9時08分 (サマータイム)
操作後	ニューヨーク 午前9時08分 (サマータイム)	東京 午後10時08分 (スタンダードタイム)

Ⓐボタンを約3秒間押し続けます。

- 確認音が鳴り、ホーム都市とワールドタイム都市が入れ替わります。
- 1秒針がワールドタイム都市の東京(TYO/TOKYO)を示し、時刻が修正されます。

重要

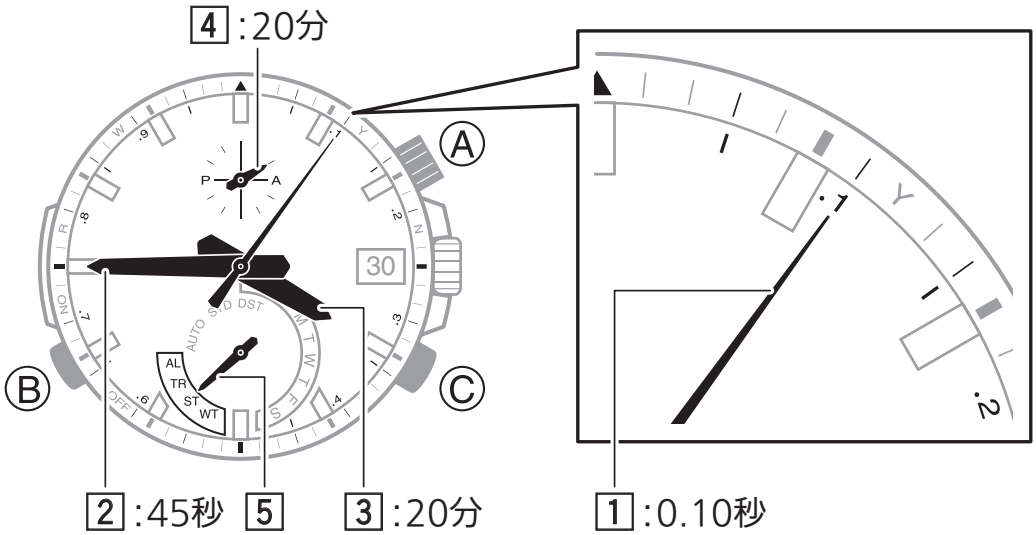
- この時計を日本で使用する場合は、ホーム都市を東京(TYO/TOKYO)に設定します。

ストップウオッチ

ストップウオッチは0.05秒単位で119分59.95秒まで計測できます。何回も連続で計測するのに便利な「フライバック計測」も可能です。計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。

針の見方

例）計測時間が「20分45秒10」の場合



1 秒針：計測時間を0.05秒単位で表示します。

- 文字板に0.05秒単位の目盛りが刻まれています。

2 分針：計測時間を1秒単位で表示します。

3 時針：計測時間を1分単位で表示します。（0～60分）

4 時針（24時間制）：計測時間を1分単位で表示します。（0～120分）

5 モード針：ストップウオッチモード「ST」を示します。

計測する

❶時刻モードでⒷボタンを2回押し、ストップウオッチモードに切り替えます。

5 モード針が、「ST」を示します。

❷計測するときのボタン操作は、以下の通りです。

- 経過時間計測（積算計測）

Ⓐ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓒ

スタート　ストップ　（再スタート）　（ストップ）　計測値をリセット

- フライバック計測

計測中にⒸボタンを押すと、計測時間が0に戻り、すぐ次の計測をスタートします。何回も連続で計測できます。

Ⓐ → Ⓒ → Ⓒ → …

1回目スタート　2回目スタート　3回目スタート

… → Ⓐ → Ⓒ

ストップ　計測値をリセット

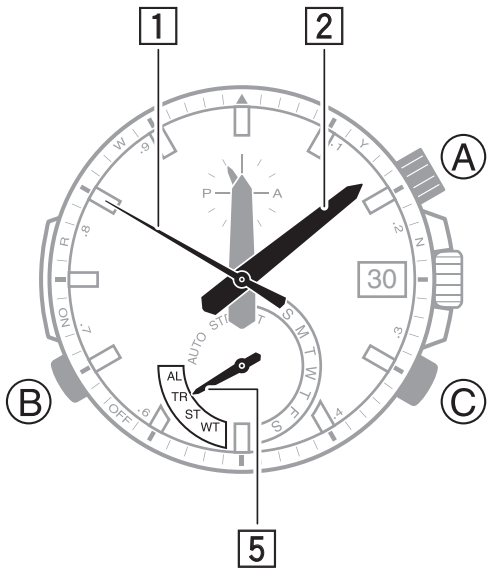
参考

- 計測中にりゅうずを引いたり、他のモードに切り替えても計測は継続します。
- 1 秒針（1/20（0.05）秒針）はスタート／再スタートから30秒間動き、止まります。計測を停止すると計測時間の位置まで針が動きます。

タイマー

1 分単位で 1 分から 60 分まで設定することができます。
残り時間が 0 になるとタイムアップ音が 10 秒間鳴ります。

針の見方



1 秒針:
計測時間を1秒単位で表示します。計測中は、反時計回りに動きます。

2 分針:
計測時間を1分単位で表示します。計測中は、反時計回りに動きます。

5 モード針:タイマーモード「TR」を示します。

計測時間を設定する

❶ 時刻モードでⒷボタンを3回押し、タイマーモードに切り替えます。

5 モード針が、「TR」を示します。

❷ りゅうずを引きます。

❸ りゅうずを回して、タイマー計測時間を1〜60分の間で設定します。

❹ りゅうずを戻します。

参考

- 60分を設定するには12時位置に設定します。
- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

計測する

タイマー計測のボタン操作は、以下の通りです。

Ⓐ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓒ

スタート　ストップ　（再スタート）　（ストップ）　計測値をリセット

参考

- 残り時間が0になるとタイムアップ音が10秒間鳴り、計測前の状態に切り替わります。
- 充電量が不足しているときは、タイムアップ音が鳴りません。
- 計測中にりゅうずを引くと、計測を中止して計測時間を設定する状態になります。

重要

- タイマーの計測中は、電波を受信しません。

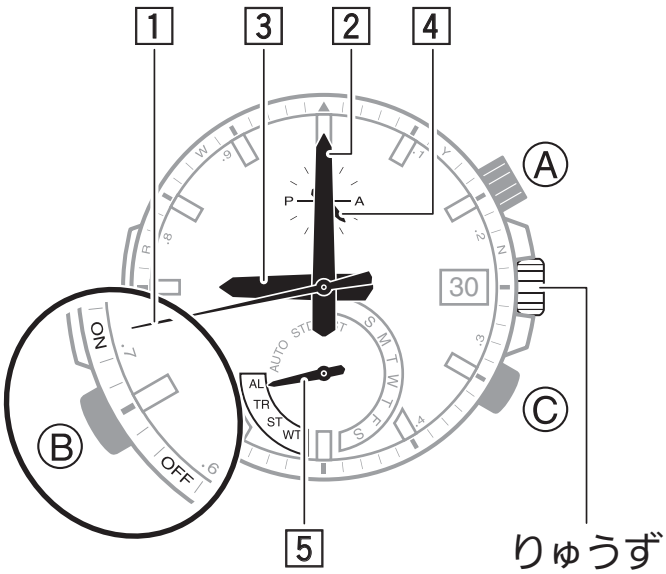
タイムアップ音を止める

いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

アラーム

アラームをオンにすると、設定した時刻にアラーム音が10秒間鳴ります。

針の見方



1 秒針：アラームのON/OFF設定を表示します。
2 分針／3 時針／4 時針（24時間制）：
　アラームが鳴る時刻を表示します。
5 モード針：アラームモード「AL」を示します。

アラーム時刻を設定する

❶ 時刻モードでⒷボタンを4回押し、アラームモードに切り替えます。

5 モード針が、「AL」を示します。

参考

- アラームモードのまま2〜3分間操作をしないと、時刻モードに切り替わります。

❷ りゅうずを引きます。

❸ りゅうずを回して、アラーム時刻の「分」を設定します。

- りゅうずを回し続けると「時」も合わせることができます。
- 針は早送り／早戻しすることができます。

りゅうずの操作…P.20

❹ Ⓑボタンを押します。

❺ りゅうずを回して、アラーム時刻の「時」を設定します。

- 午前／午後は、4 時針（24時間制）で確認してください。
- 針は早送り／早戻しすることができます。

りゅうずの操作…P.20

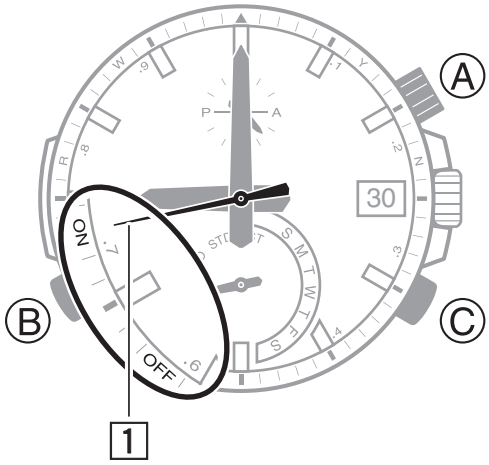
❻ りゅうずを戻します。

参考

- りゅうずを引いた状態で2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

アラームのON/OFFを切り替える

● アラームモードで、Ⓐボタンを押して、1秒針が示すアラームの「ON」または「OFF」を切り替えます。



参考

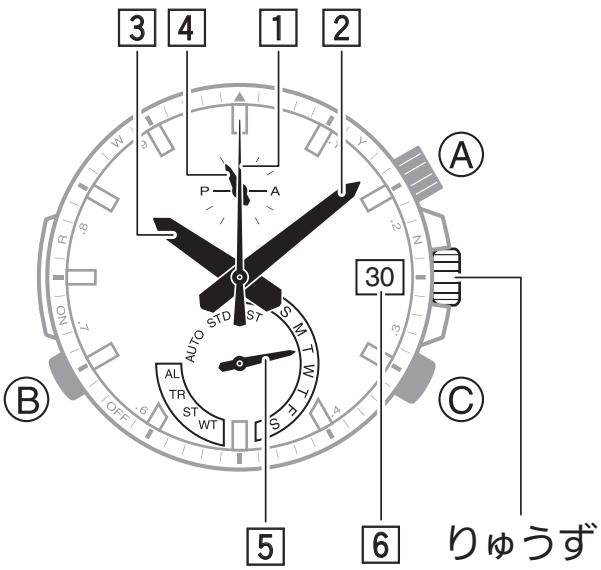
- 充電量が不足がしているときは、アラーム音が鳴りません。
- パワーセービング機能により、節電状態（機能スリープ）のときはアラーム音が鳴りません。

アラーム音を止める

● いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。

針・日付のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。
針のずれは定期的に自動補正していますが、すぐに補正したい場合は、手動で補正することもできます。
日付の表示がずれているときは、手動で補正してください。



1 秒針
2 分針
3 時針
4 時針（24時間制）
5 モード針
6 日付

針のずれを手動で補正する

重要

- 正しい時刻を表示しているときは、この操作を行う必要はありません。

❶ 時刻モードでりゅうずを引きます。

❷ Ⓒボタンを、ピッと音が鳴り、1 秒針が12時位置を示すまで（5秒以上）押し続けます。

- Ⓒボタンを離すと、6 日付を除くすべての針が12時位置に移動して、補正が行われます。

❸ 4 時針（24時間制）が12時位置（真下）を示しているときは、12時間分ずれています。Ⓐボタンを約2秒間押し続けて、4 時針（24時間制）を24時位置（真上）に補正します。

❹ Ⓑボタンを押します。

6 日付が「1」に動いて、補正が行われます。

❺ 6 日付が「1」を表示していることを確認します。

- 「1」が中央からずれているときは、りゅうずを回して中央に合わせてください。
- 「1」を表示していないときは、りゅうずをすばやく時計回りに回すと、早送りさせることができます。
- 早送りを止めるには、いずれかのボタンを押します。

❻ りゅうずを戻します。

時刻モードに戻り、時刻を表示します。

参考

- 補正を中止したいときは、りゅうずを戻してください。それまでに補正してある針は、補正された状態で時刻モードに戻ります。

針の動きと表示

状況	原因と対処
現在の表示モードがわからない	Ⓑボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに戻ってください。 モードの切り替え…P.48
突然、針の動きが速くなった	以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。 • パワーセービング機能を解除し、復帰している。 節電（パワーセービング機能）…P.30 • 電波受信により、時刻修正をしている。 電波を受信するには…P.38

状況	原因と対処
秒針が2秒ごとに動いている	充電量が不足しています。光に当てて充電してください。 充電するには…P.26 バッテリー充電警告機能…P.28
すべての針が 12 時（秒針は 57 秒～0 秒）位置で停止し、ボタン操作ができない	充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電するには…P.26 バッテリー充電警告機能…P.28 充電にかかる時間…P.29
針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった	充電回復モードの状態です。回復するまで(約15分)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。 **参考** • タイマー、アラームや電波受信などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少するため、一時的に針の動きを停止して充電回復モードに切り替わります。充電回復モードのときは、すべての機能が使用できなくなりますが、回復すると通常の状態に戻ります。

状況	原因と対処
現在時刻の表示が数時間ずれている	ホーム都市の設定が正しくありません。設定を確認してください。 ホーム都市の設定…P.50
現在時刻の表示が1時間ずれている	サマータイム設定が正しくありません。設定を確認してください。 サマータイムの設定…P.53
時刻と日付の表示位置がずれている	強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれを補正してください。 針・日付のずれ補正…P.94

りゅうずの操作

状況	原因と対処
りゅうずを回しても、何も操作ができない	りゅうずを引いたまま2分以上何も操作をしないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。 りゅうずの操作…P.20

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない	充電切れになると操作ができなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。 充電にかかる時間…P.29

電波受信

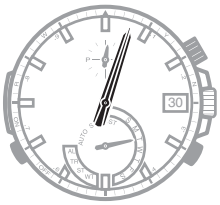
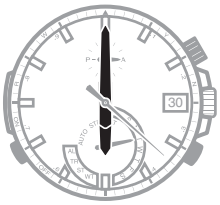
この項目は、以下の都市を設定している場合に該当します。
ロンドン（LON）、パリ（PAR）、アテネ（ATH）、香港（HKG）、ホノルル（HNL）、アンカレジ（ANC）、ロサンゼルス（LAX）、デンバー（DEN）、シカゴ（CHI）、ニューヨーク（NYC）、東京（TYO）

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない （受信結果が「N（NO）」になる）	電波受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。 受信場所…P.37
	電波受信中にアラームが鳴った。 受信中にアラームが鳴ると受信を中止します。
	電波障害による受信の失敗。 周辺の環境を確認し、電波障害のない所で受信してください。 電波の受信範囲と条件…P.34

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない （受信結果が「N（NO）」になる）	送信所から電波が送信されていない可能性があります。 独立行政法人情報通信研究機構（NICT）日本標準時グループのホームページなどをご確認ください。 電波の受信範囲と条件…P.34
電波が受信できない	時刻モードになっていません。 Ⓑボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えてください。 電波を受信するには…P.38
	ホーム都市の設定が正しくない可能性があります。設定を確認してください。 ホーム都市の設定…P.50
	電波の自動受信をOFFにしている。 ON/OFF設定を確認してください。 自動受信のON/OFF設定…P.43

状況	原因と対処
電波が受信できない	方位計測、タイマー計測を行っている。 計測を止め、時刻モードに切り替えてください。 受信のご注意…P.45
	充電量が不足しています。 充電量が回復するまで光を当ててください。 充電するには…P.26

方位の計測

状況	原因と対処
計測エラー(下記)になった 	センサーや内部回路で異常を検出するとエラーになります。 強い磁力の近くで計測した場合にもエラーになることがあります。 強い磁力がある場所から離れて、計測をやり直してください。計測をやり直してもエラーになる場合は、センサーや内部回路の故障が考えられます。「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。 使用場所…P.77
異常磁気検出状態(下記)になった 	強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。 • 再計測しても異常磁気検出状態になるときは、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れたまま、2点補正をした後、計測してください。 2点補正…P.69 使用場所…P.77 保管場所…P.77

状況	原因と対処
正確な方位計測ができない	磁力の影響を受けている可能性があります。方位センサーを補正してください。 2点補正…P.69 家電、橋梁、鉄骨、架線など強力な磁気の近くや、電車、船などで計測しています。鉄製のものから離れてから、計測をやり直してください。 使用場所…P.77
同じ場所で計測結果が異なる	近くのノイズ源（高圧電線など）の影響により、地磁気の検出が安定していません。ノイズ源から離れ、計測し直してください。
室内での方位計測ができない	テレビ、パソコン、スピーカーなどの磁気の方向を乱す物体が地磁気の検出を妨げています。影響を及ぼすものから離れる、もしくは屋外で再計測してください。特に、鉄筋コンクリート構造の室内では、正確な計測はできません。また、電車や航空機の中での正確な計測はできません。

ワールドタイム

状況	原因と対処
ワールドタイムの表示が数時間ずれている	ホーム都市の設定が正しくありません。設定を確認してください。 ホーム都市の設定…P.50
ワールドタイムの表示が1時間ずれている	サマータイム設定が正しくありません。設定を確認してください。 ワールドタイム都市を選択する…P.79

アラーム

状況	原因と対処
アラームが鳴らない	充電量が不足しています。 充電量が回復するまで光を当ててください。 充電するには…P.26
	午前と午後を間違えて設定しています。
	りゅうずを引いた状態になっています。 りゅうずの位置を戻してください。

製品仕様

精　　度	：	電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒
基本機能	：	時（2分運針）・分（10秒運針）・秒・日・曜日、フルオートカレンダー（2000～2099年）
電波時計機能	：	自動受信・手動受信 受信結果確認機能 サマータイム自動切り替え 受信局自動選択機能（JJY、MSF/DCF77で対応） 受信電波　コールサイン： JJY（40kHz/60kHz）、 WWVB（60kHz）、 MSF（60kHz）、 DCF77（77.5kHz）、 BPC（68.5kHz） 自動受信ON/OFF切り替え機能
方位計測機能	：	方位補正機能（2点、北方位）、 20秒間の連続計測機能、 北方位指針

ワールドタイム機能	：	世界29都市（29タイムゾーン）とUTC（協定世界時）の時刻を表示、サマータイム設定機能、都市入れ替え機能、UTCダイレクト呼び出し機能
ストップウオッチ機能	：	計測単位＝1/20（0.05）秒 計測範囲＝1時間59分59秒95（120分計） 計測機能＝経過時間、フライバック計測
タイマー機能	：	セット単位＝1分 計測範囲＝60分 計測単位＝1秒
アラーム機能	：	セット単位＝時・分
その他	：	針位置自動補正機能、パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能
使用電池	：	二次電池
持続時間	：	約6か月 （光に当てないで、1日あたり、電子音10秒間、電波受信1回（約4分）使用し、方位計測を月に20回使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること

- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的（2 ～ 3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

●バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

■温度

●自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 時計動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。
  なお、極度に強い磁気（医療機器など）は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

● さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）をお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

● 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

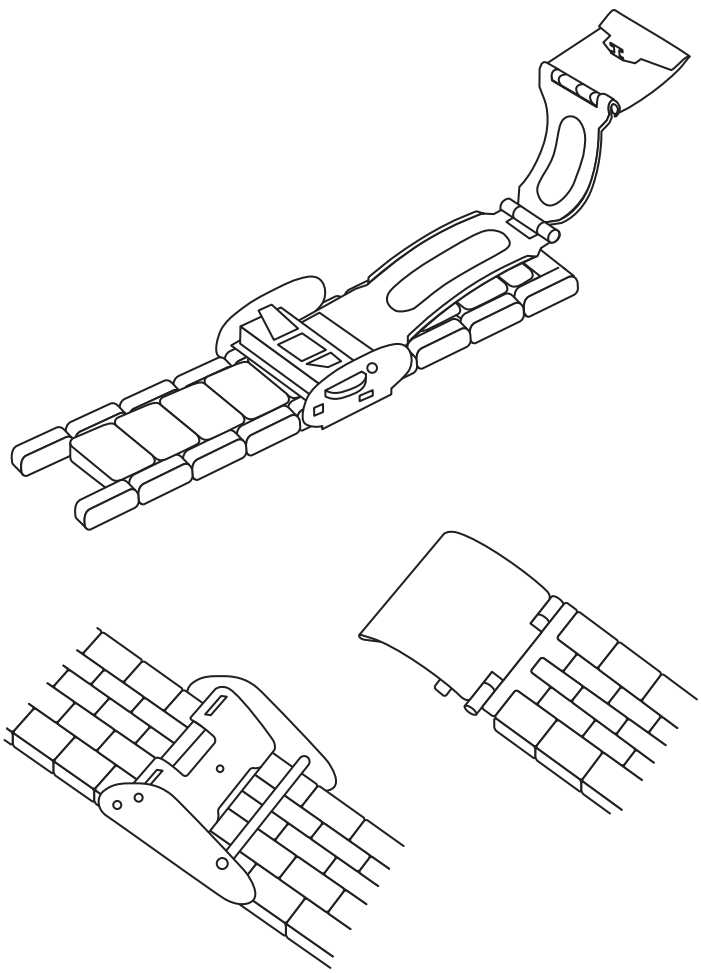
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

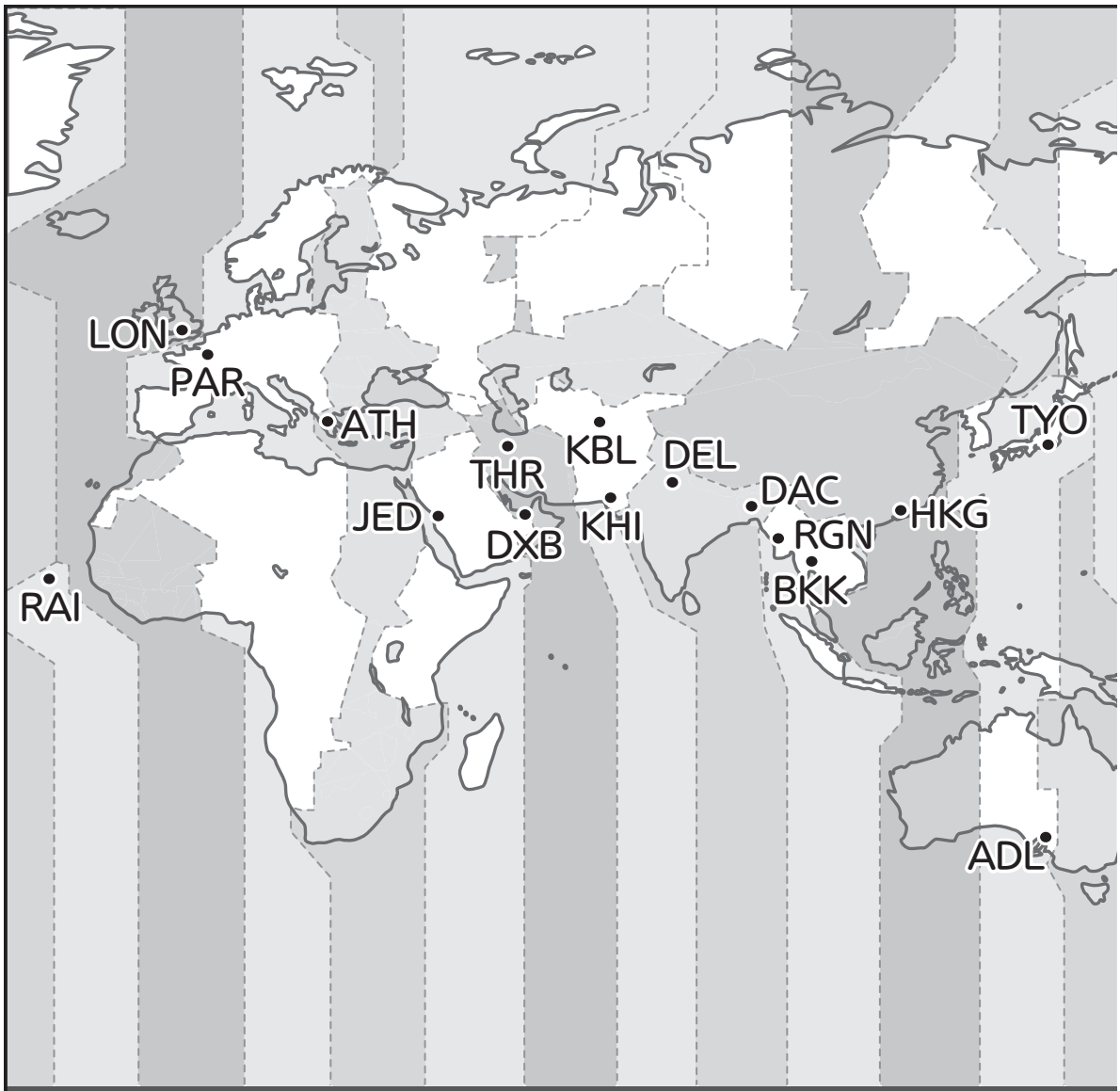
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

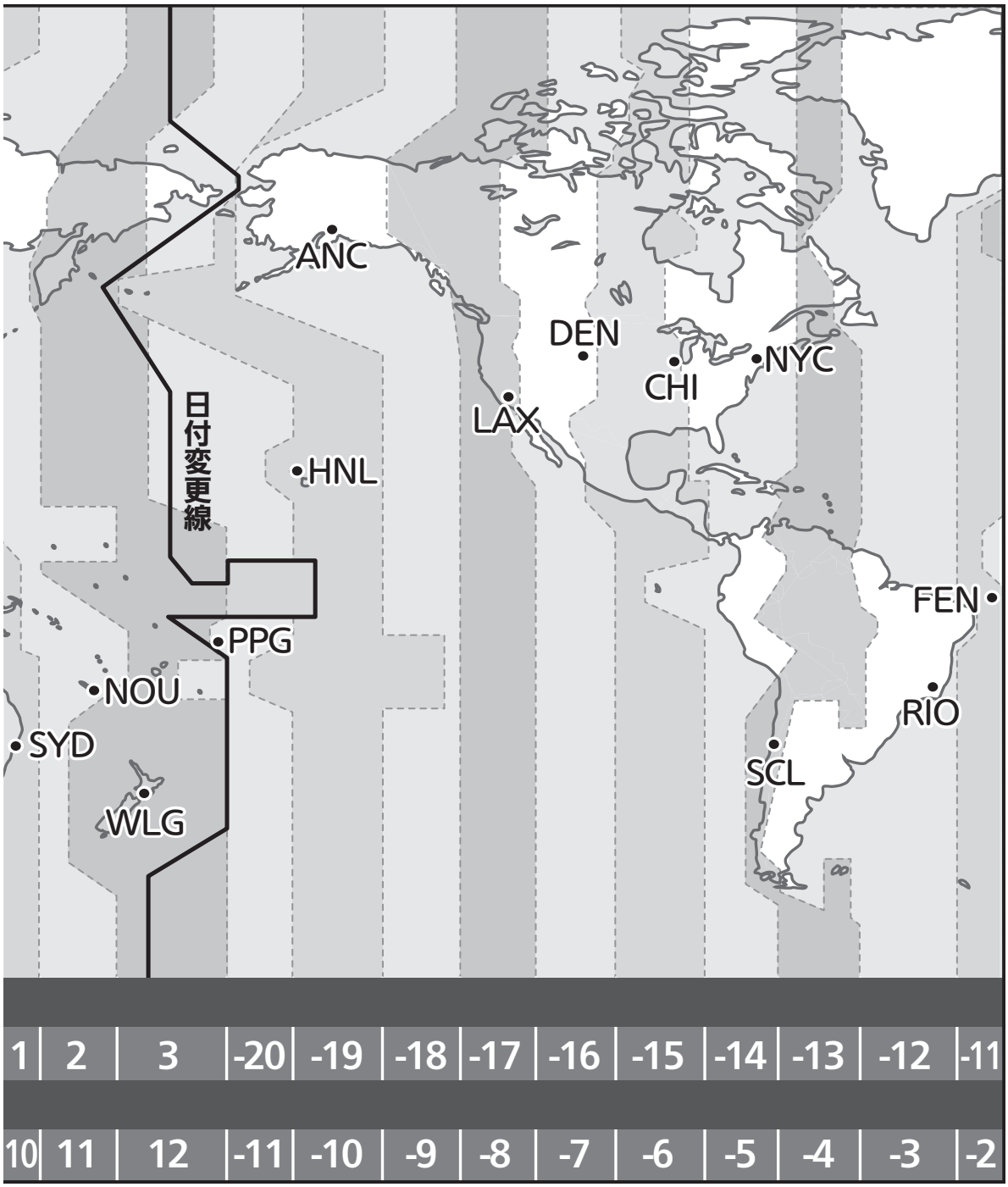


タイムゾーンとUTC(協定世界時)との時差

地図から使用場所のタイムゾーンをご確認ください。



JST(日本標準時)との時差												
-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1
UTC(協定世界時)との時差												
-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10


ANC
DEN
NYC
CHI
LAX
日付変更線
HNL
FEN
PPG
NOU
RIO
SYD
SCL
WLG
1
2
3
-20
-19
-18
-17
-16
-15
-14
-13
-12
-11
10
11
12
-11
-10
-9
-8
-7
-6
-5
-4
-3
-2

都市コード一覧表

都市コード		時差	都市名
UTC		0	協定世界時
LON	LONDON	0	ロンドン
PAR	PARIS	+1	パリ
ATH	ATHENS	+2	アテネ
JED	JEDDAH	+3	ジェッダ
THR	TEHRAN	+3.5	テヘラン
DXB	DUBAI	+4	ドバイ
KBL	KABUL	+4.5	カブール
KHI	KARACHI	+5	カラチ
DEL	DELHI	+5.5	デリー
DAC	DHAKA	+6	ダッカ
RGN	YANGON	+6.5	ヤンゴン
BKK	BANGKOK	+7	バンコク
HKG	HONG KONG	+8	香港
TYO	TOKYO	+9	東京
ADL	ADELAIDE	+9.5	アデレード
SYD	SYDNEY	+10	シドニー
NOU	NOUMEA	+11	ヌーメア
WLG	WELLINGTON	+12	ウェリントン
PPG	PAGO PAGO	−11	パゴパゴ

サマータイム期間	
開始	終了
なし	なし
3月最終日曜1時	10月最終日曜2時
3月最終日曜2時	10月最終日曜3時
3月最終日曜3時	10月最終日曜4時
なし	なし
3月22日0時または3月21日0時	9月22日0時または9月21日0時
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
なし	なし
10月第1日曜2時	4月第1日曜3時
なし	なし
9月最終日曜2時	4月第1日曜3時
なし	なし

都市コード		時差	都市名
HNL	HONOLULU	−10	ホノルル
ANC	ANCHORAGE	−9	アンカレジ
LAX	LOS ANGELES	−8	ロサンゼルス
DEN	DENVER	−7	デンバー
CHI	CHICAGO	−6	シカゴ
NYC	NEW YORK	−5	ニューヨーク
SCL	SANTIAGO	−4	サンティアゴ
RIO	RIO DE JANEIRO	−3	リオデジャネイロ
FEN	F. DE NORONHA	−2	フェルナンド・デ・ノローニャ
RAI	PRAIA	−1	プライア

参考

- この表は、本機の都市コードの一覧（2014年6月作成）です。
- この表の時差は、協定世界時（UTC）を基準としたものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、同じタイムゾーンの都市コードを選択してください。

サマータイム期間	
開始	終了
なし	なし
3月第2日曜2時	11月第1日曜2時
10月第2土曜24時	3月第2土曜24時
10月第3日曜0時	2月第3日曜0時または 2月第4日曜0時
なし	なし
なし	なし

- この表のサマータイム期間は、その都市で採用しているサマータイム期間です。その他の都市で使用するときは、サマータイム設定を変更してください。

サマータイムの設定…P.53